

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

国語

科目

実践国語

教科：国語

科目： 実践国語

单位数：4 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（Ⅰ部：阿部・島内）（Ⅱ部：島内・谷岡）（Ⅲ部：大塚）

使用教科書：（大修館書店「論理国語」

教科 **国語** の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手である自覚を持つ。

科目 **実践国語** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実践的な語彙力を身につけ、言葉の特徴や使い方を学ぶとともに、話や文章に含まれている情報の扱い方を身につける。	情報を適切かつ効果的に表現する技術を学び、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、実践的な言語感覚を磨く。	論理的な文章がもつ価値への認識を深めるとともに、評論文を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	・評論文読解の基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。	対話の精神 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、文字の奥深さについて把握しようとしている。	○	○	○	14
	・論理構造の基本的な展開を知り、学びに向かう姿勢をつくる。	ミロのヴィーナス 記号のメディアと物理的メディア	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情に触れ、自己の考えを深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	・統計資料などの様々なデータを読み取り、要点をまとめる。	家族化するベット ポスト真実時代のジャーナリストの役割	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古文特有の表現や文法事項を理解し、正確な読解に努めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情に触れ、自己の考えを深めようとしている。	○	○	○	14
	・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	自己をモデル化する知能 猫は後悔するか	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、日本人の美意識について把握しようとしている。	○	○	○	14
定期考査							○	○		1
2 学 期	・本文の前提や含意を確認し、主張を吟味する。	敬語への自覚 多数決を疑う	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、それぞれの言葉の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・韻文の特徴を踏まえ鑑賞し、また表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌人のバックグラウンドを理解し、積極的に言外の意味を知ろうとしている。	○	○	○	32
	・評価、賛否、提案など、自分の考えをまとめる。	スキーマと記憶 言語と他者	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古文特有の表現や文法事項を理解し、正確な読解に努めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情に触れ、自己の考えを深めようとしている。	○	○	○	32
3 学 期	・テーマの具体化、焦点化を的確にし、自らの主張を述べる。	分かち合う社会 生物多様性の恩恵	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情に触れ、自己の考えを深めようとしている。	○	○	○	17
	・自ら設定した問いをレポートにまとめる。	世界は、いま 無常ということ	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・漢文特有の表現や文法事項を理解し、正確な読解に努めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情に触れ、自己の考えを深めようとしている。	○	○	○	17
										合計
										156

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	漢字・語句 書き取り ・同訓異字、同音異義語、類似字形	・ 同じ音でも異なる語をインプットすることで語彙力をつけさせる。 ・ 語彙を用いて、自己の体験を振り返らせる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	漢字・語句 熟語 ・常用漢字、表外漢字、特殊な読み、訓読語	- 基本的な常用漢字を確認し、生活の中でも活用できるようにする。 - 新聞記事などを用いながら、実用的な読みを身に付ける。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	12

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	漢字・語句 反対語・相対字 ・反対語、対照語、相対字	・反対の語を理解することにより、表現の幅を増やさせる。 ・反対語を使って例文を作成し、文章力を付けさせる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	12

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	漢字・語句 四字熟語・ことわざ 四字熟語、故事成語、ことわざ	・ 日常に用いられている故事成語の成り立ちを理解させる。 ・ 四字熟語を用いることにより、文章が豊かになることを味わわせる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者： (Ⅰ部：田中) (Ⅱ部：田中) (Ⅲ部：根岸)

使用教科書：)

使用教材： (浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	表記・作文 正しい表現、敬語	- 敬語の種類(3種類)を使い分けられるようにする。 - 文法上の正しい表現を知り、実際に活用できるようにする。	(関・意・態) 授業内での取り組みや発言、課題 (技能) 定期考査 (知・理) 授業内演習、定期考査	12

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	表記・作文 作文の書き方	- 正しい表記や仮名遣いで表記できるようにする。 - 相手に伝わるように段落分けをして、主張したいことを明確にさせる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	表記・作文 手紙文の書き方	- 手紙文の構成、マナーを把握し、適切に作成できるようにさせる。 - 実際の採用礼状の例を用い、実践できるようにさせる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	12

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」)

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	文学史の基礎知識 日本の文学	・奈良時代からつづく、日本の文学史の知識をつけさせる。 ・有名な作品の冒頭を味わい、過去の時代に想いを馳せさせる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」）

	指導内容	科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	総合問題	・評論文の読解に取り組ませ、文章を正確に読む力を養わせる。 ・要点をまとめさせ、端的に意見を述べる力をつける。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	9

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」）

指導内容		科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	総合問題	・評論文の読解に取り組ませ、文章を正確に読む力を養わせる。 ・要点をまとめさせ、端的に意見を述べる力をつける。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 国語科「国語総合」 年間授業計画

教科： 国語科 科目名：国語総合 単位数：3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：田中）（Ⅱ部：田中）（Ⅲ部：根岸）

使用教科書：)

使用教材：（浜島書店「実用国語セミナー」）

指導内容		科目「国語総合」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	総合問題	・評論文の読解に取り組ませ、文章を正確に読む力を養わせる。 ・要点をまとめさせ、端的に意見を述べる力をつける。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	8

年間授業計画

荻窪高等学校 令和6 3 ～ 6 年度入学生

教科 地理歴史

科目 地理総合

教 科： 地理歴史

科 目： 地理総合

単位数： 2

単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組 3 学年

教科担当者：（ 1～3組：福島 ） （4～6組：岡田 ） （7,8組：吉嶋 ） （3 学年：吉嶋・福島） （ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養おうとする気持ちを学習活動の中で示していくことができる。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
＜知識＞学習単元を通じて地理学習の5つの主題をつかむことができたか。地誌学習において、地方的特殊性と一般的共通性を把握することができたか。	＜思考・判断＞地理学習の5つの主題を用いて学習単元の事象を分析しそこから予測や行動規範を導くことができるか。	作業的な学習に積極的に取り組むことができるか。
＜技能＞読図・描図等の地図操作力が身についたか。グラフや資料を分析・活用する力が身についたか。	＜表現＞地図を活用したり、データを解析したグラフとしてまとめることができるか。実際の地域で学習したことからの分析や導くことができるか。	提出物をきちんと提出できるか。
		わからないことをそのままにせず、わかるまで取り組むことができるか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 地球上の位置と時差 【知識及び技能】地球上の場所を示す方法としての経緯度のしくみを知る 【思考力、判断力、表現力等】時差のしくみを理解し、時間の違いを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】学習課題に積極的に取り組む。	・指導事項 地球上の位置の表示、時差と生活 ・教材 教科書・地図帳・印刷教材 ・一人1台端末の活用 等 電子教材	【知識・技能】地表面の位置に関する名称と地球の自転公転に関わる知識、方位と位置 【思考・判断・表現】経度と時間・時差の関係、標準時の意味が把握できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。	○	○	○	6
	B 単元 地球儀と地図 【知識及び技能】球体の地球儀と平面の地図、地図の特徴と種類を知る。 【思考力、判断力、表現力等】地図の特長に応じた用途についての判断と活用ができる。 【学びに向かう力、人間性等】学習課題に積極的に取り組む。	・指導事項 地図のしくみ、地図投影法、メルカトル図法と正距方位図法、等角航路と大圏航路 ・教材 教科書・地図帳・印刷教材 ・一人1台端末の活用 等 電子教材	【知識・技能】地図の用途に応じて距離、方位、角度、面積のどの条件が必須であるかがわかる。 【思考・判断・表現】用途による地図を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	C 単元 地図の種類と地形図 【知識及び技能】地図の種類と地形図の読み方をつかむ。さまざまな用途別主題図の特長をつかむ。 【思考力、判断力、表現力等】用途に応じた主題図を選択できる。地形図からさまざまな地理的事象を見出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学習課題に積極的に取り組む。	・指導事項 主題図、縮尺の異なる地形図、地図記号とその改廃・変化 ・教材 教科書・地図帳・地形図・印刷資料 ・一人1台端末の活用 等 電子地図等	【知識・技能】縮尺の異なる地形図がきちんと読めることができたか。地形図の基礎・基本を把握できたか。 【思考・判断・表現】異なる時期の地形図から地域の変化を読み取ることができたか。地形図を利用して地域の課題を見通すことができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。	○	○	○	8
	D 単元 地理情報システムと地図の活用 【知識及び技能】地理情報システムを生活の中で活用している場面を知る。地理院地図の使い方をを知る。 【思考力、判断力、表現力等】地理院地図のさまざまな機能を理解し、断面図や経路図などを作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】学習課題に積極的に取り組む。	・指導事項 GIS、地理院地図、e-Stat、j STAT MAP、WebGIS ・教材 教科書・地図帳、地理院地図、RESAS ・一人1台端末の活用 等 タブレットまたはスマートフォン	【知識・技能】地理院地図の活用ができたか。E-Stat、jSTAT Map、RESASがどのようなものが理解できたか。地理院地図を利用して断面図や経路図を作成することができたか。 【思考・判断・表現】GISを利用して地理的事象の課題等を読み取ることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元 現代世界の国家、人々の活動 国境、国家領域の範囲、わが国の位置と範囲を把握する。 F 単元 グローバル化する世界 国家間の結びつきの枠組みおよび貿易・交通・通信・観光分野を通して国家間の結びつきを考える。 G 単元 生活と自然環境 地球全体規模の地形の概要をとらえる。	自然的国境と人為的国境、領土・領海・領空、排他的経済水域（EEZ）、 国家間連合とグループ化、グローバル化、インバウンド、 内的営力と外的営力、地質年代、変動帯、プレートテクトニクス、造山運動と安定陸塊	【知識・技能】学習した用語を把握できたか。 【思考・判断・表現】わが国の領域における諸問題について自分なりの考えを持てたか。グローバル化と反グローバル化の問題、体制の対立の問題について整理できたか。プレートテクトニクスの考え方に基づいて地震等の災害に備えることに考えが及んだか。 【態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	H 単元 様々な小地形と人々の生活 河川、海岸、氷河、乾燥、カルスト地形の特徴を学ぶことを通して地域の特徴を考える。 I 単元 世界の気候と人々の生活 気候と気象の違い、大気の大循環、植生と気候区分、気候と生活、モンスーンの影響を受けた人々の生活（東アジア）を通して気候と人々の生活の関係を理解する。	沖積平野と洪積台地、扇状地、河跡湖、自然地形と後背湿地、氾濫原、三角洲と三角江、河岸段丘と海岸段丘、砂嘴と砂州、陸棚島と陸棚砂州、リアス海岸とフィヨルド、U字谷とV字谷、気候要素と気候因子、恒常風と季節風、貿易風・偏西風・極東風、低圧帯と高圧帯、大気の大循環、雨季と乾季、雨季と乾季、海洋性気候と大陸性気候、気風の年較差と日較差、局地風とフェーン現象、ケッペンの気候区分、雨風国とハイオクグラフ、ASEAN、ブランドেশション、モノカルチャー経済、華僑・華人、プミブトラ、ドイモイ	【知識・技能】地形用語・気候用語を理解できたか。 【思考・判断・表現】地形や気候が人間生活の及ぼす影響とその特徴について考えを述べるができるか。 【態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	J 単元 地球的課題と国際協力 SDG's と地球的課題について、地球環境とエネルギー、人口・食料と貧困、都市と居住等を通して考えていく。 K 単元 持続可能な社会と私たち 自然環境と災害・防災、生活圏の調査と地域の展望から私たちの地域の課題を考えていく。	SDG's の17の課題、地球温暖化、エネルギー資源、人口問題（人口ピラミッド、移民、難民、人口爆発、少子化、高齢化、労働力）、食料と貧困の問題（飽食と飢餓、フェートレード、ファストフード・グロウドロス、フードバンク）、都市と居住問題（衛星都市、一極集中、昼間人口と夜間人口、インナーシティ、インフラ、スラム、ドーナツ化現象とスローロール現象、ニュータウンと再開発、日本の地形と気候、火山と地震、気象災害、ハザードマップ、被災、防災、減災、地域調査とボスターセッション	【知識・技能】SDG's に基づく地球的課題の諸問題の基礎知識を持つことができたか。自然災害に対する防災・減災の知識と技能を身につけたか。 【思考・判断・表現】地球的課題に対してSDG's の考え方に基づいた問題に対する考えを持つことができたか。 【態度】演習課題や作業課題に取り組むことができたか。地域調査の学習に参加し協同的な学習ができたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							81

年間授業計画

荻窪高等学校 令和6 3 ～ 5 年度入学生

教科 地理歴史科

科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組 3 学年

教科担当者： (1 ～ 6 組：湯淺) (7 ～ 8 組：吉嶋) (3 学年：清水・湯淺)

使用教科書： (山川出版社 歴総 7 0 7 『歴史総合 近代から現代へ』)

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 日本及び世界の歴史を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の特色や相互の関連を考察し、それを説明したり議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、日本国民としての自覚・世界の多様な生活文化を尊重する態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる意味や意義を時期や年代、推移、比較、現在のつながりに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。	よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 結びつく世界 【知識及び技能】 人類が過去をどのように知り、伝えてきたのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「近代化」に関して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題の解決に歴史の学びが必要であることを理解する。	・指導事項 アジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ・教材 教科書 ワーク ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	5
	B 単元 近代ヨーロッパの成立 【知識及び技能】 市民革命により、社会はどう変わったかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代と歴史の関連を自覚する。	・指導事項 アメリカ独立革命とフランス革命 ・教材 教科書 ワーク ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民化 【知識及び技能】 アジア社会の植民化による欧米・アジア相互の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 多角的視点からの判断・表現を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 オスマン帝国の衰退 ・教材 教科書 ワーク ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	8
	D 単元 中国の開港と日本の開国 【知識及び技能】 近代欧米諸国の進出に我が国がどのように対応したのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 多角的視点からの判断・表現を涵養する。 【学びに向かう力、人間性等】 他文化の視点を尊重する。	・指導事項 アヘン戦争と日本開国 ・教材 教科書とワーク ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元 明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】 近代欧米諸国の進出にアジア諸国がどのように対応したのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代のアジア諸国に欧米がどう影響を与えたかを考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 19 世紀後半が近代日本の基礎であることを自覚する。	・指導事項 明治初期の対外関係 ・教材 教科書とワーク ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	F 単元 帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 列強諸国のアジア分割と日本の対応を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代のアジア諸国に欧米がどう影響を与えたかを考察し、表現できる。	・指導事項 日露戦争と国際関係の変化 ・教材 教科書とワーク ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

3 学 期	G 単元 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に参加国の社会変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地政学的視点を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 第1次世界大戦 ・教材 教科書とワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	7
	H 単元 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 国際関係の視点を軸に参加国の社会変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用し主体的に課題を解決しようとする視点を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】						
	定期考査						
							1
							合計
							79

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 地理・歴史科

科目 近代の東京

教科：地理・歴史科

科目：

近代の東京

単位数：

3

単位

対象学年組：第3学年 1組～

8組

教科担当者：（1～3組：岡田）

（4～6組：望月）

（7・8組：清水）

使用教科書：（『江戸から東京へ』東京都教育委員会）

教科 地理・歴史科

の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の特色や相互の関連を考察し、それを説明したり議論したりするする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、日本国民としての自覚・世界の多様な生活文化を尊重する態度を養う。

科目 近代の東京

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<知識> 日本史を東京都民の視点から捉え、現代の諸問題や地域形成が江戸時代からどのように成立していったか、近現代史を通して理解することができるか。 <技能> 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	<思考・判断> 近現代史の変革や事件の歴史的意義を、その時代背景、経緯、現在の東京へのつながりに着目して多面的・多角的に考察できるか。 <表現> 歴史的な問題をよく理解し、因果関係を分かりやすく発表できるか。場合によっては解決を視野に入れた構想を説明したり議論したりできるか。	よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養えるか。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される東京都民としての自覚、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深められるか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 幕藩体制の成立 【知識及び技能】 幕藩体制の成立過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ幕府は鎖国を行ったのかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 多角的視点から検討する。	・指導事項 幕藩体制の成立 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	10
	B 単元 列強の接近 【知識及び技能】 列強諸国と日本の関わりを説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ列強諸国は日本を開国させようとしたのかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界史的な広い視野から考察する。	・指導事項 列強の接近 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 明治維新と富国強兵 【知識及び技能】 明治維新の過程を東京の視点から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ幕府が倒れたのか、多様な観点から調べる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界史的な視点から話し合いを行う。	・指導事項 明治維新と富国強兵 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	14
	D 明治維新と富国強兵 【知識及び技能】 明治新政府の富国強兵策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ、新政府はプロイセンを模倣したのかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の国家の特徴を客観的に観察する。	・指導事項 明治維新と富国強兵 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 日清・日露戦争と国際関係 【知識及び技能】 日露戦争の経緯と影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ロシアと開戦した理由や戦争の世界史的影響を議論し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の考えを尊重して話すことができる。	・指導事項 日清・日露戦争と国際関係 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物				12
	B 単元 第一次世界大戦と市民文化 【知識及び技能】 日露戦争の世界的同盟の構図が、そのままヨーロッパに持ち込まれたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次大戦が与えた歴史的影響を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 第一次世界大戦と市民文化 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物				9
	定期考査						1
	C 単元 日中戦争と新体制運動 【知識及び技能】 日本で軍部の力が増した理由を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌が日中戦争を生む過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 日中戦争と新体制運動 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物				10
	D 太平洋戦争 【知識及び技能】 なぜ戦争が起きたのか、東京都は当時どのような状態だったのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次大戦の原因を複数の要因から客観的に導き出せる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 太平洋戦争 ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物				10
	定期考査						1

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

地理・歴史科

科目

近代の東京

3 学 期	A 単元 新生日本のスタート 【知識及び技能】 日本が戦後どのような国になったのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 背景に世界史的などのような動きがあったのかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 新生日本のスタート ・教材 教科書・オリジナルシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物				10
	定期考査						14
							合計 117

荻窪高等学校 令和6年度 教科 地理歴史 科目 地理A 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 地理A 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年

使用教科書：（東京書籍「地理A」・帝国書院「新詳高等地図」

使用教材：（

）

）

	指導内容	地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	地球儀や地図からとらえる世界	○地球儀を用いて、水陸分布、大陸間の方位、距離、位置関係、時差や季節の生じるメカニズムについて考察することで、球体としての地球の姿を把握させる。 ○地球は丸くて、自転しているために「時差」が生じることを理解させ、都市間の時差を計算で求めることができるようにさせる。 ○世界地図は球体を平面にしているゆえに歪みが生じ、そこからさまざまな投影法が開発されてきたこと、地図は用途に応じて適切な図法を用いることを理解させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	6
5月	自然環境と防災 東アジアの生活・文化と環境	○地形と気候の両面から日本列島の自然環境の特性を把握させる。 ○日本列島の自然環境の特性を自然災害発生との関わりから理解させる。 ○日本列島で発生する自然災害（地震・津波、火山の噴火、土砂災害・洪水、台風・雪害、大都市災害）の発生メカニズムやもたらされる被害について考察させる。 ○東アジアの生活・文化の特徴について自然環境と関連づけて考察させる。 ○東アジアの代表的事例として中国と韓国の生活・文化を取り上げ、地域性や歴史的背景との関わりから考察させる。 ○中国、韓国の現在の動向、抱えている課題について、多面的・多角的に考察させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	8
6月	東南アジアの生活・文化と環境 南アジアの生活・文化と環境 西アジアの生活・文化と環境	○東南アジアの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考察させる。 ○東南アジアを構成するASEAN諸国の多様性について、宗教・民族・経済などの側面から考察させる。 ○タイの産業と開発について、地域性や歴史的背景との関わりから多面的・多角的に考察させる。 ○南アジアの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考察させる。 ○南アジアの代表的事例としてインドを取り上げ、その生活・文化の特徴と変化について考察させる。 ○西アジアの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考察させる。 ○油田開発が人々の生活をどのように変えたのか具体的に考察させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	8
7月	1学期のまとめ	○1学期の学習内容を振り返り定着させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	6
8月				0
9月	北アフリカの生活・文化と環境 サハラ以南アフリカの生活・文化と環境	○北アフリカの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考察させる。 ○北アフリカの宗教・言語の代表的事例としてイスラム教とアラビア語について、地域性や歴史的背景との関わりから多面的・多角的に考察させる。 ○油田開発が人々の生活をどのように変えたのか具体的に考察させる。 ○サハラ以南アフリカの生活・文化の特徴について、自然環境や歴史的背景、民族性と関連づけて考察させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	8
10月	ヨーロッパの生活・文化と環境	○ヨーロッパの多様な地形や、高緯度の割に温暖な気候について理解する。 ○ヨーロッパのEUへの統合の歩みを確認し、なぜ統合が進んでいるのかその理由を考察する。 ○EU域内で行われていることを理解する。 ○EUの拡大によってどのような課題を抱えるようになったのか考察する。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	10
11月	アングロアメリカの生活・文化と環境 ラテンアメリカの生活・文化と環境	○アメリカ合衆国とその周辺の自然環境にはどのような特徴があるのか、地形や気候の東西差に注目して理解する。 ○アメリカ合衆国の自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する。 ○世界に影響を及ぼすアグリビジネス企業の特徴を理解する。 ○アメリカ合衆国の農業の変化と課題について考察する。 ○NAFTA成立による加盟国間の結びつきやアメリカ合衆国とメキシコとの関係の変化について考察する。 ○ラテンアメリカの自然環境について、熱帯林の広がりや高地での暮らしに注目し、理解する。 ○ラテンアメリカの歴史的背景と各国の人種・民族構成の違いについて理解する。 ○先住民とさまざまな地域の文化や伝統が融合したラテンアメリカの独特な文化について理解する。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	10
12月	2学期のまとめ	○2学期の学習内容を振り返り定着させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	4
1月	オセアニアの生活・文化と環境	○オーストラリアとその周辺の自然環境について、内陸部と沿岸部の違いに注目し、理解する。 ○オーストラリアの多文化社会はどのように形成されてきたのか、移民の出身国の変化をもとに理解する。 ○オーストラリアとアジア太平洋との結びつきが強まったことを、貿易や経済機構を通して理解する。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	6
2月	日本の諸地域	○現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	8
3月	1年間のまとめ	○1年間の学習内容を振り返り定着させる。	関心・意欲・態度/思考・判断・表現/資料活用 の技能/知識・理解 ワークシート（ノート） 定期考査	4

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～5年度入学生用

教科 公民

科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

第3学年

教科担当者：(1～6組：服部)

(7～8組：宮浦)

第3学年：鈴木・服部・宮浦

使用教科書：(実教出版 公共704 『公共』)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 民主国家の基本原則 【知識及び技能】 政治と国家、政府が何であるかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 政治とはどのような営みか、p.41「Try」を利用しながら考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 公共空間の実現に向けて意欲が高まっているか 定期考査	・指導事項 民主政治の基本原則 ・教材 教科書 マイノート ・一人1台端末の活用 PCによる発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 単元 民主政治の仕組み・世界の政治体制 【知識及び技能】 基本的人権・国民主権・権力分立が理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 現代の民主政治の課題を考える 【学びに向かう力、人間性等】 多数決の長所・短所の考察 定期考査	・指導事項 民主政治の仕組み 世界の政治体制 ・教材 教科書 マイノート ・一人1台端末の活用 PCによる発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	14
2 学期	定期考査			○	○		1
	C 単元 日本国憲法・日本の政治機構 【知識及び技能】 日本国憲法の特徴を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 日本の課題について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 憲法改正・裁判員制度等について意見をまとめる 定期考査	・指導事項 日本国憲法・政治機構 ・教材 教科書 マイノート ・一人1台端末の活用 PCによる発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	D 単元 現代の経済社会 【知識及び技能】 経済主体・市場経済・現代の企業について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 GDP・インフレ・金融商品のリスクについて考察し発表できる 【学びに向かう力、人間性等】 現代財政の問題点を考察できる 定期考査	・指導事項 現代の経済社会 ・教材 教科書 マイノート ・一人1台端末の活用 PCによる発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	E 単元 日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 戦後の日本経済について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 労働問題について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障の課題を発表できる	・指導事項 日本経済の特質と国民生活 ・教材 教科書 マイノート ・一人1台端末の活用 PCによる発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	7
3 学期	F 単元 民主社会の倫理 【知識及び技能】 青年期の特徴を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 これからの福祉社会を考える 定期考査	・指導事項 民主社会の倫理 ・教材 教科書 マイノート ・一人1台端末の活用 PCによる発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 79

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 公民

科目 経済を学ぶ

教科：公民

科目：経済を学ぶ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：(1～6組：大橋) (7～8組：宮浦)

使用教科書：(実教出版 政経703『最新 政治・経済』)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 経済を学ぶ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A単元 経済生活の意義 【知識及び技能】 生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい 定期考査	・指導事項 経済生活の意義 ・教材 教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 PCによる 発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B単元 現代の経済社会 【知識及び技能】 経済主体・市場経済・現代の企業について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 GDP・インフレ・金融商品のリスクについて考察し発表できる 【学びに向かう力、人間性等】 現代財政の問題点を考察できる 定期考査	・指導事項 現代の経済社会 ・教材 教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 PCによる 発表・提出 「みんなの経済ワールド」等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	C単元 日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 戦後の日本経済について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 労働問題について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障の課題を発表できる 定期考査	・指導事項 日本経済の特質と国民生活 ・教材 教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 PCによる 発表・提出 「金融クエスト」等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	D単元 現代の国際政治 【知識及び技能】国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 定期考査	・指導事項 現代の国際政治 ・教材 教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 PCによる 発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	E単元 国際連合と国際協力 【知識及び技能】国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 定期考査	・指導事項 国際連合と国際協力 ・教材 教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 PCによる 発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	7
	F単元 こんにちの国際政治 【知識及び技能】冷戦構造の概要について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 定期考査	・指導事項 こんにちの国際政治 ・教材 教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 PCによる 発表・提出 等	【知識・技能】 定期考査・提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言・態度・定期考査・提出物	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

数学

科目

数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1 2 3 組：大野 ）（ 4 5 6 組：吉良 ）（ 7 8 組：高内 ）

使用教科書：（ 新編数学A（啓林館） 、エディノート数学A（啓林館） ）

教科

数学

 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 基本的な概念、原理・法則、用語・記号等を理解させると共に、基礎的な知識を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に捉え、論理的に思考する力やその過程を振り返り多面的・発展的に考える力を養成する。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な見方や考え方のよさを認識させ、それらを事象の考察に活用しようとする態度を育む。

科目 数学A の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	場合の数と確率、図形の性質、及び数学と人間の活動における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけているかどうか。また、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的な活動を通して、場合の数と確率、図形の性質、及び数学と人間の活動における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	数学的な活動を通して、場合の数と確率、図形の性質、及び数学と人間の活動における考え方に感心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「場合の数と確率」 【知識及び技能】 集合に関する基本的な関係や和の法則・積の法則を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 和の法則、積の法則を用い、場合の数を数えるときに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 集合に関心をもつとともに、その有用性を認識する。	・集合の要素の個数、場合の数 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 具体的な事象の起こりうる場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 さまざまな事象の場合に応じて、解法を判断し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 順列や組合せの考えを用いて求める。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・組合せなどの場合の数の求め方を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの考えを活用しようとする。	・順列、組合せ、いろいろな順列 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 具体的な事象の起こりうる場合の数を順列や組合せの考えを用いて表現できる。 【思考・判断・表現】 順列・組合せなどの場合の数の求め方を身につけ、具体的な事象の確率を考察する 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	10
	定期考査①			○	○		1
	【知識及び技能】 場合の数を求めることで確率を計算する。 【思考力、判断力、表現力等】 試行の結果として起こる事柄を事象として考え、集合と結びつけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本的な性質があることに気づき、確率を求めようとする。	・事象と確率、確率の基本性質、期待値 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 確率の基本性質を理解し、それを使って、積事象や和事象、余事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 確率の基本性質を導く過程を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 独立な試行と反復試行について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な試行と反復試行について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 独立な試行や反復試行を、具体的な例から考えようとする。	・独立な試行、反復試行、条件付き確率 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 独立な試行と反復試行について理解し、公式を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 反復試行の確率の公式を導く過程を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査②			○	○		1
	単元「図形の性質」 【知識及び技能】 三角形の重心、外心、内心やチェバ・メネラウスの定理の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の重心、外心、内心やチェバ・メネラウスの定理を用い表現する。。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形や円など図形の性質に関心を持ち、問題の解法に活用しようとする。	・直線と角、三角形の重心、外心、内心、垂心、チェバの定理、メネラウスの定理 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	12
	定期考査③			○	○		1
	【知識及び技能】 円周角の定理とその逆を使い、いろいろな円の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 円周角の定理とその逆を使い、いろいろな円の性質を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 円や2円の位置関係など図形の性質に関心をもち活用しようとする。	・円周角、円と直線、2つの円の位置関係 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 2直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 2直線や2平面の位置関係、多面体に関する基本的な性質を調べようとする。	・平面と直線、多面体 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	10
3 学 期	定期考査④			○	○		1
	単元「数学と人間の活動」 【知識及び技能】 ユークリッドの互除法、二元一次方程式、倍数判定、n進法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 二元一次方程式の特殊解を求める際に、ユークリッドの互除法が活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 ユークリッドの互除法、n進法の仕組みに関心をもち、調べようとする。	・ユークリッドの互除法、二元一次不定方程式、倍数の判定、位取り記数法とn進法 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 整数の性質に理解し、基礎的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 整数の性質を事象の考察に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日々の学習活動への参加の仕方や提出物の内容。粘り強く考察しようとする姿勢。	○	○	○	12
	定期考査⑤			○	○		1
							合計 78

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	1－1 いろいろな場合の数 ① 試合数は全部でいくつか ② 樹形図で考えよう ③ 点字のしくみ ④ 最短距離の道順	（関・意・態） トーナメント戦やリーグ戦の総数を求め方に興味をもち、その仕組みを探究しようとする。 樹形図を描き、樹形図の仕組みを理解しようとする。 （見方・考え方） 筋道が通った考え方やその思考錯誤を意識させることで、数学的な見方を表現できる。 （技能） トーナメント、リーグ戦、樹形図などを小さな場合で考えるなど、問題解決の方法を、実際に行うことができる。 （知・理） 図を利用して考えることは単に計算をするだけではないことを理解し、数学的な考え方を身につけられる。 （関・意・態） 点字について理解し、点字の組み合わせの総数を求めるときに数学的に考察できることに興味をもち、その仕組みを探究しようとする。 樹形図や道順を書き、正確に総数を求めることができる。 （見方・考え方） 図や問題文より解法を考察することで、数学的な見方を表現できる。 （技能） 問題を理解する、実際に数え上げて法則を見つける等をして、問題解決の方法を、実際に行うことができる。 （知・理） 実際に図を描くことで解法は計算する以外にもあることを理解し、数学的な考え方を身につけられる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査 （関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	6

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月	1－2 身の回りの図形 ① 紋章の美しさ ② 平面をしきつめる ③ 多面体の性質 ④ 正多面体の展開図	（関・意・態） 線対称、点対称の性質を理解した上で、題材を解決できることに興味をもち、探究しようとする。 平面をしきつめて、どのような図になるか取り組もうとする。 （見方・考え方） 図形の対称性を把握するために、図を正確に描くことができ、問題の解決に取り組める。 （技能） 図形を描いたり、展開した図形を推測することなどの適切な処理方法ができる。 （知・理） 図形の性質を理解することが数学的処理の有効な方法であることを理解し、論理的な考え方を身につけられる。 （関・意・態） 多面体の面や線、頂点の数を把握した上で、題材を理解し、探究しようとする。 （見方・考え方） 多面体の性質を把握するために、図を正確に描くことができ、問題の解決の解法を考察する。 （技能） 図形・多面体を描き、展開した図形を推測することなどの適切な処理方法ができる。 （知・理） 図形・多面体の性質を理解することが数学的処理の有効な方法であることを理解し、論理的な考え方を身につけられる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査 （関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	9

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	1－3 数学的な表現のくふう ① 道順とあみだくじ ② 7つの橋は渡れるか ③ 行列と経路 ④ 行列の積 ⑤ 航路と行列の積	（関・意・態） 写像の考え方を理解し、道順やあみだくじで扱われていることに興味をもてる。 線で表した図形をひと筆書きができるか調べようとする。 （見方・考え方） 道順やあみだくじにおいて、経路の道筋を考察することができる。 （技能） 道順やあみだくじの経路で、ルールに従って辿ることができる。 （知・理） 世界には、似たゲームが存在し、そのどれもが数学的な見方で考察できることを認識する。 （関・意・態） 行列の意味を理解し、経路や航路についての問題の構造を知ろうとする。 （見方・考え方） 経路や航路についての問題の意味を考察し、自分の言葉で表現できる。 （技能） 経路や航路についての問題では、実際に数値をいれて調べることができる。 行列の性質を理解して、計算することができる。 （知・理） 問題内容が難しくても行列の性質を理解し、解法パターンを身につければ、難しくないことが認識できる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査 （関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	9

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	2－1 経済と数学 ① 副引きの賞金と期待値 ② 単利法のしくみ ③ 複利法のしくみ ④ ローンの返済	（関・意・態） 福引きや宝くじのしくみに関心をもち、期待値の求めることにより、どのくらいの割合で当たるか検討しようとする。 単利法の分野では、元金と利子の意味を理解し、元利合計を求めようとする。 （見方・考え方） くじなどの期待値や元利合計を求め、考察することができる。 （技能） 各々のくじの確率を逐次求めることができ、その確率から期待値を求めることができる。また、求めた元利合計から利率を求めることができる。 （知・理） くじと期待値の関係性や単利法を理解し、実際の生活でいかせるようになる。 （関・意・態） 複利法による利子の計算に興味をもち、ローンの仕組みを探究しようとする。 （見方・考え方） 複利法やローンの意味を理解し、預金の元利合計やローン返済について考察することができる。 （技能） 単利法と複利法の違いを理解し、複利法による利子の合計を計算できるようになる。 （知・理） ローンの返済方法をそれぞれ理解して、どの方法が良いか考えられる、または判断できるようになる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査 （関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	6

年間授業計画様式
荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位
 対象学年組： 第4学年1～8組
 教科担当者： 1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林
 使用教科書：（数学活用 実況出版）
 使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	2－2 測定と数学 ① 本の大きさいろいろ ② 地図を読もう ③ 坂道の角度を求めよう ④ 建物の高さを求めよう	（関・意・態） 長方形の短い辺と長い辺の長さの比から、大きさの違う長方形の辺の長さを求めようとする。 地図帳やパソコンなどの地図の読み方を学ぼうとする。 （見方・考え方） 図形が相似であり、比を使って求めていく考えができる。 縮尺の意味を理解し、そこから実際の距離を求める見方ができる。 （技能） 比の計算や縮尺による実際の距離を求めるための計算ができる。 （知・理） 比や縮尺の問題で、計算方法を理解し、正しい答えを導くことができる。 （関・意・態） 身の回りにある斜面の傾斜の程度や建物の高さに興味・関心を持ち、数値で求めようとする。 （見方・考え方） 勾配の意味や性質を理解し、斜面の傾斜や建物の高さを求める考え方ができる。 （技能） 勾配の性質を使って、斜面の傾斜や建物の高さを計算する。また、四捨五入して、値を表すことができる。 （知・理）	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査 （関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	7

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	2－3 コンピュータと人間の活動 ① コンピュータと2進法 ② GPS衛星	（関・意・態） コンピュータと2進法との関係に興味・関心を持ち、探究しようとする。 GPSの意味を理解し、位置情報を知る方法を探究しようとする。 （見方・考え方） 2進法は2つの数字のみで使用し、様々な事象を考察する。 位置情報は、2点からの距離関係より考えられる。 （技能） 10進数を2進数で表したり、位置情報を求める計算ができる。 （知・理） 10進数を2進数で表す方法を理解している。 位置情報の表し方を理解している。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	8
	③ 近似直線 ④ 標本調査	（関・意・態） 近似直線の方程式、標品調査に関心をもち探究しようとする。 （見方・考え方） 近似直線から事象の予測を考察することができる。 集団の資料の一部を取り出して調べ、全体の様子を推測していく見方ができる。 （技能） 近似直線の方程式を解き、予測する。 集団の資料から平均値を求めることができる。 （知・理） 問題文を理解し、近似直線の方程式を立てることができる。 集団の資料のデータをソートし整理することで、資料を把握しやすくする。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	3－1 数と人間 ① エジプトとバビロニアの数字 ② ローマの数字と5進法 ③ ”0”の発見と位取り	（関・意・態） 古代エジプトと古代バビロニアの数の表し方に関心をもつ。 古代ローマの数の表し方や5進法、10進法のしくみを探究しようとする。 0のはたす役割と10進位取り記数法について、知ろうとする。 （見方・考え方） 象形文字や楔形文字を理解し、問題の解法を考えていく。 5進法や10進法を使用して、物事を考察していく。 10進位取り記数法の特徴から、倍数の見分け方を考えていく。 （技能） 現在の記数法からエジプトやバビロニアの記数法で表すことができる。 ローマ数字を現代の記数法で表すことができる。 様々な数字の倍数を調べることができる。 （知・理） エジプトの記数法やバビロニアの記数法の仕組みを理解し、問題を解くことができる。 10進法や5進法を活用し、5進法で表された数字を10進法で表すことができる。 10進位取り記数法では、0があることによって位が定まり、いろいろな計算を行うことができる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	9

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	④ 四角数と三角数 ⑤ フィボナッチの数列 2－3 図形と人間 ① 古代の測量と図形の面積 ② ピラミッドの高さ	（関・意・態） 四角数と三角数について調べ、探究しようとする。 フィボナッチの数列がどのような規則で並んでいるか調べようとする。 （見方・考え方） 小石を正方形や三角形に並べて、個数を求める考え方ができる。 はじめの数に次の数を加えるとその次になっていることを使い、 後の数字を考察する。 （技能） 三角形や四角形の小石の数を求める式を立てることができる。 フィボナッチの数列を書き進めていくことができる。 （知・理） 四角数や三角数の性質を理解し、列の和を求めることができる。 フィボナッチの数列の並び方の法則を見つけ出し、何番目の数を求める ことができる。 （関・意・態） 三角形などの図形の面積の求め方の歴史を学び、さらに探究しようとする。 建物などの高さの求め方を探究しようとする。 （見方・考え方） 三角形などの図形の面積の求め方をいろいろ試して、どの方法が良いか 考察する。 建物などの高さを相似の関係を利用して、求める方法を考える。 （技能） 図形の面積の公式を立て、計算することができる。 相似比を使って、長さを求める計算ができる。 （知・理） 図形の面積の公式の成り立ちを理解し、面積を求めることができる。 建物などの高さを相似の関係を理解した上で、求めることができる。	（関・意・態）授業内での取 り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演 習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期 考査	6

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	③ 三平方の定理の誕生 ④ ピタゴラスと三平方の定理 ⑤ 円周率と円の面積	（関・意・態） 三平方の定理について、成り立つ過程を調べようとする。また、その歴史を学ぼうとする。 円周率の歴史を調べようとする。 （見方・考え方） 三平方の定理を使用すると、直角三角形のわからない一辺が求められること考察する。 「直角をはさむ2辺上の正方形の面積の和は、斜边上の正方形に等しい」ことを教科書の巻末の付録を使用して確認することで、直角三角形の数学的な見方できる。 円周率を使用して、面積を求める方法を考える。 （技能） 三平方の定理を使用して式を立て、計算することができる。 円周の長さや円の面積を求める公式を使用することができる。 （知・理） 三平方の定理が使える条件を理解し、長さを求めることができる。 円や四角形などの図形の性質を理解し、複雑な図形の面積を求めることができる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	7

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	⑥ 黄金比と2次方程式	（関・意・態） 黄金比と2次方程式との関係に興味関心を持ち、探究しようとする。 （見方・考え方） 図形の長さを求めるときに、2次方程式を利用して解く見方をする。 （技能） 文章から2次方程式を立てて、2次方程式を解くことができる。 （知・理） 2次方程式の解の公式を使って、問題を解くことができる。	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	8
	3－3 数学の文化 ① カレンダーの数学 ② スポーツと数学	（関・意・態） カレンダーのしくみを理解し、探究しようとする。 ベクトルの意味を理解して、図示しようとする。 （見方・考え方） カレンダーの曜日は、日にちを7で割ったときの余りを考えていく。 ベクトルを合わせることで向きや力の大きさを考察する。 （技能） 日にちを7で割ったときの余りを求め、曜日と対応することができる。 平行四辺形を利用して、ベクトルの和を描くことができる。 （知・理）	（関・意・態）授業内での取り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期考査	

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 数学科「数学活用」 年間授業計画

教科： 数学科 科目名：数学活用 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1～8組

教科担当者：1～3組：吉良 4組：林 5、6組：吉良 7、8組：林

使用教科書：（数学活用 実況出版）

使用教材：（自作プリント、自作PowerPoint等）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	③ 長さの単位と歴史	（関・意・態） 長さを測るときと単位の歴史を調べ、探究しようとする。 長さの単位に従って、それぞれの長さを求めようとする。 （見方・考え方） どのような経緯で単位が決まったのか、考察する。 （技能） 長さを求めるときに、単位を変換した値を四捨五入する。 （知・理） 単位を理解し、長さを適当な単位に変換して求めることができる。	（関・意・態）授業内での取 り組みや発言、課題 （見方・考え方）授業内演 習、定期考査、課題 （技能）定期考査 （知・理）授業内演習、定期 考査	3

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2

単位

対象学年組：第1学年組～組

教科担当者：（1～6組：佐藤（78組：眞山）

使用教科書：（実教出版 高校 化学基礎）

教科理科の目標：

【知識及び技能】科学的な知識と、実験技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】観察実験から、科学的な規則性を見出す。

【学びに向かう力、人間性等】科学的な事象を日常と結び付け、考える姿勢を身につける。

科目化学基礎の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化を理解する。	目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力を身につける	化学的に探究する能力と態度、化学に対する興味や関心をもって学習に取り組む姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 物質の構成粒子 【知識及び技能】 素粒子に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 単元 物質の構成粒子 【知識及び技能】 素粒子に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 化学結合 【知識及び技能】 化学結合の調節に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 化学結合 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	D 単元 原子の量的関係 【知識及び技能】 原子の量的関係に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 原子の量的関係 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 酸とアルカリ、酸化還元 【知識及び技能】 酸とアルカリ、酸化還元知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 酸とアルカリ、酸化還元 生態系 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和6年度入学生用

教科

理科

科目

物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2

単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組 7 組～ 8 組

教科担当者：（1～5組：小須田）（7・8組：眞山）

使用教科書：（実教出版 高校 物理基礎

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学的な知識と、実験技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察実験から、科学的な規則性を見出す。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的な事象を日常と結び付け、考える姿勢を身につける。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とその変化を理解する。	目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力を身につける	物理学的に探究する能力と態度、物理学に対する興味や関心をもって学習に取り組む姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物体の運動 【知識及び技能】 速度やベクトルを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 速度を物理量として表現する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	7
	物体の運動 【知識及び技能】 力と運動の量的関係を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 力を矢印で表現する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 物体の運動 【知識及び技能】 力のつり合いについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 物体にはたらく力を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 様々な力を理解しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	8
	D 物体の運動 【知識及び技能】 運動の法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 運動の法則を学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	物体の運動 【知識及び技能】 エネルギーを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーと力を表現する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	8
	エネルギー 【知識及び技能】 熱とエネルギーを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 比熱と温度の関係を表現する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	波 【知識及び技能】 波の性質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 波の性質について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	7
	波 【知識及び技能】 音波を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 音波について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習しようとする	・指導事項 原子、物質の構成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

荻窪高等学校 令和6年度入学生用

教科

理科

科目

生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1～3組：岩森）（4～8組：平柳）

使用教科書：（啓林館 高校 i版生物学基礎）

教科

理科

 の目標：

- 【知識及び技能】 科学的な知識と、実験技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察実験から、科学的な規則性を見出す。
- 【学びに向かう力、人間性等】 科学的な事象を日常と結び付け、考える姿勢を身につける。

科目

生物基礎

 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら細胞や遺伝子、生態系に関する内容を理解する。	目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力を身につける	生物学的に探究する能力と態度、生物学に対する興味や関心をもって学習に取り組む姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 生物の特徴 【知識及び技能】 細胞に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 単元 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 遺伝に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 遺伝情報とDNA タンパク質の合成 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 単元 ヒトの体の調整 【知識及び技能】 体内環境の調節に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 体内環境の維持のしくみ ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	D 単元 免疫 【知識及び技能】 免疫に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 免疫 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

荻窪高等学校 令和6年度入学生用

教科

理科

科目

生物基礎

3 学 期	E 単元 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生態系に関する知識を適切に身につけるとともに、実験・観察の操作を適切に行う 【思考力、判断力、表現力等】 実験・観察をもとに物事を適切に判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、自身の生活と学んだ内容を関連づける	・指導事項 植生と遷移 気候とバイオーム 生態系 ・教材 教科書 プリント パソコン ・一人1台端末の活用 等 パソコンによる提出物の作成	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 保健体育

科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：松崎大河・加藤和輝・松崎浩志・宮澤紀子）（Ⅱ部：杉山直哉・小林佳朗・伊東果弥・鮫島朱里）（Ⅲ部：豊島恭昭・小林佳朗・伊東果弥）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 主として身体に関わる事項について、自らの体力、身体能力を把握することにより、積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすずんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。	主として身体に関わる事項について、自らの体力、身体能力を把握することにより、積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主體的に学ぶ姿勢を身に付けていく。	それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすずんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 集合整列、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【知識及び技能】 集合整列、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【思考力、判断力、表現力等】 集団行動を理解し、授業にける注意事項を守る 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら意欲的・積極的に活動に取り組む。	・指導事項 オリエンテーションによる授業 の確認事項 ・教材 プリント、PowerPoint ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 学習に取り組む姿勢について学ぶ 体力テストへの取り組み方 記録用紙への正しい記入 【思考・判断・表現】 自分の体力に気づき、運動に親しむための資質や能力の向上について考えながら学習に取り組む 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への参加を積極的に行い、用器具の準備や片付けをすずんで行う。ICT機を活用して学びを深めようとする。	○	○	○	8
	B 単元 アルティメット 【知識及び技能】 状況に応じたフィジカル操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い教え合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、合意形成に貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い高め合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		0
	C 単元 ハンドボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い教え合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、合意形成に貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い高め合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	8
	定期考査			○	○		0
2 学期	D 単元 ダンス 【知識及び技能】 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスで構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通して交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを目指す 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする。こと、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする。ことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な表現力の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 仲間を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを通じて交流や発表をする 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共通し高め合おうとする。こと、合意形成に貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする。ことなどや、健康・安全を確保する	○	○	○	8
	定期考査			○	○		0
3 学期	E 単元 バドミントン 【知識及び技能】 状況に応じたショットの操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い教え合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、合意形成に貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い高め合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保する	○	○	○	14
	F 単元 サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い教え合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。こと、合意形成に貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。こと、互いに助け合い高め合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保する	○	○	○	18
3 学期	G 単元 持久走 【知識及び技能】 目標タイムを達成するペース配分を自己の体力や技能の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走ること 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。こと、自己の責任を果たそうとする。こと、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。ことなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や他者とともに考えたことを言葉にして伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組むとともに、自分自身を高めようとする。こと、合意形成に貢献しようとする。こと、一人一人の違いを尊重し、記録の向上を目標にしながら、互いに助け合い高め合おうとする。ことなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	12
							合計
							78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

保健体育

科目

体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（Ⅰ部：松崎大河・加藤和輝・宮澤紀子・松崎浩史）（Ⅱ部：松崎大河・加藤和輝・鮫島朱里・小林佳朗）（Ⅲ部 豊島恭昭・鮫島朱里・小林佳朗）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

主として身体に関わる事項について、自らの体力、身体能力を把握することに努める。積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。

【学びに向かう力、人間性等】

それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校生の時期は、身体的・精神的に大きな変化のある時期であり、人生の中で重要な意味を持っていることを踏まえて、自らの体の成長に向き合い、それぞれの競技種目で技能を高めたり、記録を伸ばそうとしたり努めることができる。	主として身体に関わる事項について、自らの体力、身体能力を把握することに努める。積極的に活動できるとともに、仲間との協調性を図りながら、具体的な目標を設定し、生涯スポーツに繋げられるように取り組んでいく。自らの課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。	それぞれの個人やチームの仲間と諸課題について、コミュニケーションを図りながら、安全で楽しいと思えるような活動へ発展していくことを目指す。準備や片付けなどをすんで行い、活動時間を有効に使えるように努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 集合整列、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【知識及び技能】 集合整列、体づくり運動 基礎体力トレーニング 体力テスト 【思考力、判断力、表現力等】 集団行動を理解し、授業にける注意事項を守る 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と協力しながら意欲的・積極的に活動に取り組む	・指導事項 オリエンテーションによる授業の 確認事項 ・教材 プリント、PowerPoint ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 学習に取り組む姿勢について学ぶ 体力テストへの取り組み方 記録用紙への正しい記入 【思考・判断・表現】 自分の体力に気づき、運動に親しむための資質や能力の向上について考えながら学習に取り組む 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への参加を積極的にに行い、用具等の準備や片付けをすんで行う。ICT機を活用して学びを深めようとする。	○	○	○	5
	B 単元 バスケボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴールへの侵入などから攻撃をする 【思考力、判断力、表現力等】 攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての試合に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 敵攻を破ったりチームや自己の課題を解決したりなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 互恵にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に学習に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		0
	C 単元 サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴールへの侵入などから攻撃をする 【思考力、判断力、表現力等】 攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての試合に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 敵攻を破ったりチームや自己の課題を解決したりなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 互恵にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に学習に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	8
2 学期	D 単元 ハンドボール 【知識及び技能】 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスで構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通した交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにするとともに、仲間との交流を促すこと 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする。仲間などについての試合に貢献しようとする。一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な表現力の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 創作ダンスを鑑賞したり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表を行うこと 【思考・判断・表現】 互恵にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに応援し高め合おうとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		0
	E 単元 バレーボール 【知識及び技能】 役割に応じたシャトルの操作や安定した用具の操作と連携した動きによって強い攻撃を仕掛ける 【思考力、判断力、表現力等】 攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての試合に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 敵攻を破ったりチームや自己の課題を解決したりなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 互恵にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に学習に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる	○	○		16
	F 単元 バドミントン 【知識及び技能】 役割に応じたシャトルの操作や安定した用具の操作と連携した動きによって強い攻撃を仕掛ける 【思考力、判断力、表現力等】 攻守などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。仲間などについての試合に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 敵攻を破ったりチームや自己の課題を解決したりなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる 【思考・判断・表現】 互恵にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に学習に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	18
3 学期	G 単元 持久走 【知識及び技能】 目標タイムを達成するペース配分を自己の体力や技能の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を高めようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保する	・指導事項 様々な技能の習得 安全に留意した活動 Youtube動画の配信 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 自己に合ったペースを維持して、一定の距離を走り進み、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする 【思考・判断・表現】 互恵にわたって運動を豊かに継続するための自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や他者とともに考えたことを言葉にして伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に学習に取り組むとともに、自分自身を高めようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いを尊重し、記録の向上を目標にしながら、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる	○	○	○	15
	合計						78

荻窪高等学校 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育（4年） 年間授業計画

教 科： 保健体育 科 目： 体育（4年） 単位数： 2単位
対象学年組： 第4学年1組～8組
使用教科書：（大修館書店「現代高等保健体育」）
使用教材：（大修館書店「現代高等保健体育ノート・ステップアップ高校スポーツ」）

月	【年間授業計画】		評価の観点・方法	予定 時数
	指導内容	体育（4年）の具体的な指導目標		
4月	オリエンテーション	・授業を進めるに当たっての諸注意や評価について理解できる。	知識・思考・判断 授業観察・言語活動	12
			技能 スキルテスト 思考・判断 授業観察・言語活動	
5月	A 体づくり運動・新体力テスト	・体ほぐしの運動や体力を高める運動、新体力テストを通じて、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の目標を立て、実生活に役立てることができる。	態度 授業観察・言語活動	16
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
6月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・味方や相手の状況に応じてボールに緩急や高低、回転などの変化をつけて前後左右のねらった場所に打ち分けたり、リズムを変えたりして、得点しやすい空間を作り出すなどの攻撃をしかけ、その攻撃に対応して仲間と連携して守るなどの攻防を展開することができる。（技能） ・自己のチームや相手チームの特徴に応じた作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わうことができる。（思考・判断） ・立体的な空間の攻防としてとらえ、ボールの変化やリズムの変化によって守備を崩し、得点しやすい空間を作り出すなどの攻撃とその対応による攻防を展開することができる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	18
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
7月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・味方や相手の状況に応じてボールに緩急や高低、回転などの変化をつけて前後左右のねらった場所に打ち分けたり、リズムを変えたりして、得点しやすい空間を作り出すなどの攻撃をしかけ、その攻撃に対応して仲間と連携して守るなどの攻防を展開することができる。（技能） ・自己のチームや相手チームの特徴に応じた作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わうことができる。（思考・判断） ・立体的な空間の攻防としてとらえ、ボールの変化やリズムの変化によって守備を崩し、得点しやすい空間を作り出すなどの攻撃とその対応による攻防を展開することができる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
9月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
10月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
11月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
12月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
1月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
2月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	
3月	E 球技（イ ネット型） バドミントン・卓球・テニス	・生涯を通じて豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 ・それぞれのスポーツ競技の特性を理解し、自らの動きや他者の動きをより良い方向に育む資質や能力の向上に努める。 ・自ら課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の成長を意識することができる（知識） ・種目に応じた巧みな動きを理解し、仲間と協力しながら積極的に活動できる。（技能） ・マナーやフェアプレイの考え方を大切にすることができる。（態度） ・事故事例や防止策、技能に応じた練習の選択、安全の確保、応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識を理解し、危険を回避する態度を高めることができる。（思考・判断、知識）	技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	32
			技能 スキルテスト 態度、思考・判断、知識 授業観察・言語活動	

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 保健体育

科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1組～3組：宮澤紀子 4組～6組：伊東果弥 7組・8組：小林佳朗）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノート（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 健康の考え方、健康の保持増進と疾病の予防、精神の健康、交通安全、応急手当などについて理解し、自らの行動について考え、生涯を通じた健康についての知識理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 主として身体に関わる事項について、自らの健康について考える。より良く生きていくことについて仲間と共に考えながら、具体的な目標を設定し、生涯の健康について考えられるように学んでいく。自らの健康に関する課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。

【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの個人や社会における健康課題について、コミュニケーションを図りながら学んでいく。主体的に調べたり、工夫したりしながら、個人や社会の健康課題について学んでいく。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	自己紹介 身体に関する数字について 1－0' 筋肉と骨について 1－0' 筋肉と水分 1－7 食事と健康	授業を進めるに当たっての諸注意や評価について理解できる。 自分自身の体の構造について興味関心を持って理解できている。 身体に関することを具体的な数字でより深く理解できている。 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができる。	○	○	○	1
	身体的な健康を理解し、保健体育の授業を通じて学ぶことの意味を理解する。 生涯にわたって必要な自分自身、家族、あるいは将来のパートナーの心身の健康について理解を深める。	1－8 休養・睡眠と健康 1－6 運動と健康 1－1 健康の考え方と成り立ち 1－2 私たちの健康の姿	現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	○	○	○	5
	健康的な生活習慣の必要性を理解し、自分自身のみならず社会の健康について考えていく。	1－3 生活習慣病の予防と回復 1－15 現代の感染症 1－16 感染症の予防 1－9 喫煙と健康	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。	○	○	○	8
	精神的な健康について考えを深め、人間が持つ欲求とそれに伴った適応機制について学び、自分や他者の精神の健康について学ぶ。	課題作成 CMの制作 PowerPointの活用 1－18 健康に関する意思決定・行動選択 欲求と適応機制 1－12 精神疾患の特徴 1－13 精神疾患の予防 1－4 精神疾患からの回復	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。	○	○	○	8
2 学 期	定期考査			○	○		1
	自らの心身の健康を通じて健康についての理解を深めながら、他者や社会の健康についてより理解を深め、学校生活を通じてより良い健康のあり方を考える。	1－18 健康に関する意思決定・行動選択 心の健康と自己実現 3－8 働くことと健康 ※誰もが充実して過ごせる学校生活 PowerPointによる制作と発表	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	○	○	○	7
3 学 期	定期考査			○	○		1
							合計 39

教 科：	保健体育	科 目：	保健	单位数：	1	单位
------	------	------	----	------	---	----

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（１組～３組：杉山直哉　４組～６組：松崎浩史　７組・８組：伊東果弥）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 （大修館書店） 使用教材：現代高等保健体育ノ一ト（大修館書店） ）

教科	保健体育	の目標：
----	------	------

【知識及び技能】 健康の考え方、健康の保持増進と疾病の予防、精神の健康、交通安全、応急手当などについて理解し、自らの行動について考え、生涯を通じた健康についての知識理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】主として身体に関わる事項について、自らの健康について考える。より良く生きていくことについて仲間と共に考えながら、具体的な目標を設定し、生涯の健康について考えられるように学んでいく。自らの健康に関する課題の解決に向けて調べたり、工夫したりしながら主体的に学ぶ姿勢を身に付けていく。

【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの個人やsh会における健康課題について、コミュニケーションを図りながら学んでいく。主体的に調べたり、工夫した居りしながら、個人や社会の健康課題について学んでいく。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション	自己紹介 授業の進め方について 2-1 事故の現状と発生要因 2-2 安全な社会の形成 2-3 交通における安全	授業を進めるに当たっての諸注意や評価について理解できる。 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切に行えるだけの知識を身につける。 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることが理解できている。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。	○	○	○	1
		2-4 応急手当の意義と其の基本 2-5 日常的な応急手当 2-6 心肺蘇生法	適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解している。さらに心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学期		3-1 ライフステージと健康 3-2 思春期と健康 3-3 性意識と性行動の選択 3-4 妊娠・出産と健康	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができる。 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることが理解できている。 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できる。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性に対する態度が必要であること、及び、性に関する情報等への適切な理解が必要であることを理解できる。	○	○	○	5
		3-5 避妊法と人工妊娠中絶 3-6 結婚生活と健康 3-7 中高年期の健康 PowerPointによる課題制作と発表	受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることに理解できる。 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できる。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周囲の人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解している。 高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学期	1, 2年保健で学習した内容を踏まえて、課題を見つけ、その課題解決のための方法や手段を考察し、具体的にどのような活動によって自分自身や社会の健康を考えていくことができるか、課題制作と発表を通じて学ぶ。	PowerPointによる課題制作と発表	1, 2年で学習してきた内容に対して自ら課題を見つけ、その課題解決に向けた思考や判断が合理的かつ社会生活に結び付けて考えられているかどうかを発表や課題提出を通じて評価する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							30

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

芸術（音楽）

科目

音楽Ⅰ

教科： 芸術（音楽）

科目： 音楽Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：小森 ）（2・3組：佐間野 ）（4組：齋木 ）（5・6組：齋木 ）（7・8組：齋木 ）

使用教科書：（ 高校生の音楽Ⅰ 教育芸術社 ）

教科 **芸術（音楽）** の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い

科目 **音楽Ⅰ** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創 賞					
1 学 期	楽典 【知識及び技能】 譜表や音名、リズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を理解し知識を身に付けようとしている。 得た知識を生かして読譜しようとしている。	ト音記号や音名、音符や休符、音楽記号等について学習し、読譜能力を身に付ける。 ・譜表に関する学習。 ・音名に関する学習。 ・音符と休符に関する学習。 ・音楽記号に関する学習。	○	○	○	【知識及び技能】 譜表や音名、リズムを理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽理論を理解し知識を身に付けようとしている。 得た知識を生かして読譜しようとしている。	○	○	○	5
	ソルフェージュ 【知識及び技能】 正しい音程やリズム感を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にリズム表現等を行いソルフェージュ能力を身に付けようとしている。	リズム・ソルフェージュ 細かいリズムを感じながらリズム感良く表現できる力を身に付ける。 拍を感じながらリズム表現できる力を身に付ける。 他のパートを聴きながらリズム・リズム打ち、リズムを発音する等の学習。 ・音価に関する学習。 歌唱とリズムのソルフェージュ 正しい音程とリズムで歌唱表現できる力を身に付ける。	○	○		【知識及び技能】 正しい音程やリズム感を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識を生かして読譜し演奏表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にリズム表現等を行いソルフェージュ能力を身に付けようとしている。	○	○	○	5
	クラシックギター 【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使い方を考え、音色や表現を創意工夫している。 主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組み、知識	ギターの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、ベースライン等を演奏表現する。 ・ギターの種類に関する学習。 ・ギターの構造および各部位の名称に関する学習。 ・タブラチュア譜およびダイアグラムに関する学習。 ・基礎的な奏法に関する学習。 ・独奏。 ・二重奏。 ・合奏。	○	○		【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使い方を考え、音色や表現を創意工夫している。 主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	12
	斉唱 校歌 【知識及び技能】 校歌の歌詞と旋律を理解し、正しい音程とリズムで良い発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞を理解し、良い発声で歌唱表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的協働的に校歌を覚え、他者との調和を意識して歌唱しようとしている。	校歌の斉唱。 ・曲想と音楽の構造や歌詞を理解する。 ・音程、リズムを理解し、身体の使い方を意識して良い発声で歌唱する。	○			【知識及び技能】 校歌の歌詞と旋律を理解し、正しい音程とリズムで良い発声で歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞を理解し、良い発声で歌唱表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的協働的に校歌を覚え、他者との調和を意識して歌唱しようとしている。	○	○	○	4
	カリンバ 【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使い方を考え、音色や表現を創意工夫している。 主体的・協働的に取り組み、他者との調和を意識して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の構造や文化的背景との関わりを理解しようとしている。 主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	カリンバの特徴および構造を理解し、基礎的な奏法を習得し、演奏表現する。 ・カリンバの背景に関する学習。 ・カリンバキットを組み立て、楽器の構造および音階の仕組みを理解する。 ・様々な音階・旋法の特徴や反復、変化、対照などの手法を活用した旋律の創作。 ・基礎的な奏法に関する学習。 ・独奏。 ・二重奏。 ・合奏。	○	○	○	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使い方を考え、音色や表現を創意工夫している。 主体的・協働的に取り組み、他者との調和を意識して演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の構造や文化的背景との関わりを理解しようとしている。 主体的・協働的に取り組み、知識および技能を修得しようとしている。	○	○	○	8

	楽典	【知識及び技能】 譜表や音名、リズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識を生かして読譜し演奏表現している。	ト音記号や音名、音符や休符、音楽記号等について学習し、読譜能力を身に付ける。	○ ○ ○	【知識及び技能】 譜表や音名、リズムを理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 得た知識を生かして読譜し演奏表現している。	○ ○ ○	3
2 学 期	クラシックギター	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使い方を考え、音色や表現を創意工夫している。 主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。	ギターの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、ベースライン等を演奏表現する。 ・ギターの種類に関する学習。 ・ギターの構造および各部位の名称に関する学習。 ・タブラチュア譜およびダイアグラムに関する学習。 ・基礎的な奏法に関する学習。 独奏。 二重奏。 合奏。	○ ○	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用を考え、音色や表現を創意工夫している。 主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。	○ ○ ○	13
	独唱 イタリア歌曲	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ベルカントで歌唱する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ベルカントで歌唱する。 ピアノとの関わりを意識して表現を創意工夫している。	イタリア歌曲について作品の良さや美しさ、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解し、身体的使用の方意識して良い発声で歌唱表現する。 ・複数の歌手・ピアニストによる演奏の鑑賞。 ・歌詞およびイタリア語の学習。 ・曲想や音楽の構造に関する学習。 ・歌唱。	○ ○ ○	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ベルカントで歌唱できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、ベルカントで歌唱する。 ピアノとの関わりを意識して表現を創意工夫している。	○ ○ ○	6
	キーボード	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。	キーボードの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、単音バス等を演奏表現する。 ・音階および鍵盤に関する学習。 ・指づかいや身体の使用に関する学習。 ・右手のみによる演奏。 ・様々な音階・旋法の特徴や反復、変化、対照などの手法を活用した旋律の創作。 ・左手のみによる演奏。 ・両手による演奏。 独奏。	○ ○ ○	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。	○ ○ ○	12
3 学 期	キーボード	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。	キーボードの基礎的な奏法を習得し、旋律およびコード、単音バス等を演奏表現する。 ・音階および鍵盤に関する学習。 ・指づかいや身体の使用に関する学習。 ・右手のみによる演奏。 ・様々な音階・旋法の特徴や反復、変化、対照などの手法を活用した旋律の創作。 ・左手のみによる演奏。 ・両手による演奏。 独奏。 連弾。	○ ○ ○	【知識及び技能】 基礎的な知識および技能を理解し、演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や楽器にふさわしい奏法や身体の使用を考え、音色や表現を創意工夫している。主体的・協働的に取り組み、他者と調和して演奏しようとしている。	○ ○ ○	10
							合計 78

萩窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 芸術

科目 **美術 I**

教 科： 芸術

科目：美術 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組、第2,3,4学年Ⅱ部（再履修講座）

教科担当者：(1・2・3・4・5・6組：武田) (7・8組：川崎) (第2学年Ⅱ部4・5・6組：武田)

使用教科書：（高校生**の美術1**）

教科	芸術	の目標：
----	----	------

【 知 識 及 び 技 能 】芸術作品のよさを味わったり表現したりするための必要な知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】芸術作品に触れ表現の意図や創意工夫などを感じとり、芸術の文化に対する見方を深める。

【学びに向かう力、人間性等】芸術の文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

科目	美術 I	の目標：
----	------	------

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、表現するために必要な知識や技能を身に付けている	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的・協同的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 影	デ	映						
1 学 期	A 単元 絵画（鉛筆での模写） 【知識及び技能】 鉛筆の使用法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 制作の過程を理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・鳥獣戯画、北斎漫画等の模写 ・鉛筆の基本的な使用法の理解 ・安全の留意 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 鉛筆の使用法について理解している。 【思考・判断・表現】 作者の意図や文化的背景を理解し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 模写に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	B 単元 絵画（風景画） 【知識及び技能】 風景画について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な視点から表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 画面に主体的に課題に取り組む。	・校内風景を鉛筆で素描。 ・様々な視点で創意工夫して表現。 ・風景画に関する作品を鑑賞。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 風景画について理解している。 【思考・判断・表現】 創意工夫し造形的な視点について理解し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 風景画に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	C 単元 絵画（静物画） 【知識及び技能】 静物の素描について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な視点について理解し着色する。 【学びに向かう力、人間性等】 画面に主体的に課題に取り組む。	・素描をもとに、瓶などの静物をアクリル絵の具で表現。 ・静物画に関する作品を鑑賞。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 静物の素描について理解している。 【思考・判断・表現】 静物の形や色、陰影など造形的な視点について理解し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 静物画に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	15
2 学 期	D 単元 彫刻・デザイン（木彫） 【知識及び技能】 木彫彩色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 彫刻刀、アクリル絵の具を効果的に使用し飾り板を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に取り組む。	・古今東西の絵画作品等をもとに、テーマを設定 ・彫刻刀、アクリル絵の具を安全に使用。 ・浮き彫りと着色。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○	○		○	【知識・技能】 木彫彩色を理解し安全に制作している。 【思考・判断・表現】 テーマに沿って彫刻刀、アクリル絵の具を使用し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 木彫彩色に主体的に制作に取り組んでいる。	○	○	○	26
	E 単元 デザイン（切り絵） 【知識及び技能】 切り絵の制作過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 切り絵の効果的なデザインを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に課題に取り組む。	・切り絵の装飾デザインを理解し表現。 ・カッターを安全に使用。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○	○		○	【知識・技能】 切り絵の制作過程を理解している。 【思考・判断・表現】 切り絵の効果的なデザインを表現し、安全に制作してしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 切り絵制作に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
3 学 期	F 単元 絵画（石膏デッサン） 【知識及び技能】 石膏デッサンの基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 形や色、陰影など造形的な視点について理解し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に取り組む。	・鉛筆での石膏デッサン方法を理解し制作。 ・陰影など造形的な視点について理解し表現。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 石膏デッサンの基本を理解している。 【思考・判断・表現】 形や色、陰影など造形的な視点について理解し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 石膏デッサンに主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	G 単元 絵画（人物画） 【知識及び技能】 人物画の基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表情や人物画の造形的な視点について理解し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に主体的に取り組む。	・人物画の技法等に興味・関心を持ち、制作。 ・表情や人陰影について理解し表現。 ・一人一台端末やICT機器を活用	○			○	【知識・技能】 人物画の基本を理解している。 【思考・判断・表現】 表情や人物画の造形的な視点について理解し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人物画に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
											合計 78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 **芸術** 科目 **書道I**

教科： 芸術 科目： 書道I 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 1 学年 2 組～ 6 組
教科担当者： (2,3組：新船) (5,6組：新船) (7,8組：秋元) (組：) (組：) (組：)
使用教科書： (教育図書 書 I)

教科 **芸術** の目標：
【知識及び技能】基本的書道用語、書体を理解する。臨書技能及び創作能力を高め、芸術の楽しさを知る。人生の糧になることを期待する。
【思考力、判断力、表現力等】交個性らしく、学習に前向きに取り組み、芸術的思考・判断・表現を高める。
【学びに向かう力、人間性等】芸術は人生や社会を作る重大な一翼を担うことを念頭に学習を深める。

科目 書道I の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	書は歴史や文化と不即不離で発達したグローバルな芸術。この独特の世界における歴史文化的学術知識を並行して学ぶ。また芸術表現ではとりわけ、毛筆という特殊で高度な筆記具の使用技術や東洋独特の美意識や情操を高める。	一人ひとりの個性と能力を最大限発揮しながら、芸術性や言語と文字に関する知識を動員して、心を表すことを育て、多様な文字表現・毛筆表現の向上にチャレンジする。また世界的な視野に立ち、東洋的、日本的民族文化を理解する。	日本的な言葉と文字の世界に理解を深め、その文化芸術に誇りを見出したい。また、書表現の魅力や可能性に関心を抱きたい。道具の整備や手入れをしっかりとすることなどを心掛ける精神を養いたい。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢	仮	漢						
1 学 期	オリエンテーション。書へのいざない。鑑賞へのいざない。書道道具の確認。	・指導事項 書道概説 ・教材 教科書、書道セット	○			○	書についての関心度が深まったか。道具の準備ができたか。	○	○	○	4
	楷書体の学習 有名古典を通じ、歴史や文化的側面と書表現との連絡について学ぶ。礼教書として発達した古代漢字書道が、現代人の心をも打ち続ける事について考える。これが毛筆の発達と不即不離の関係にあることを体験する（以下全項目についてこの指針に倣	同上		○		○	古典名や作者・時代を覚ええたか。毛筆表現にどんな工夫をしたか。	○	○	○	10
	楷書体の創作	同上		○		○	毛筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表現ができたか。	○	○	○	6
	篆書と篆刻	同上	○			○	篆書体の特性を理解できたか。文字のデザインに工夫ができたか。	○	○	○	10
2 学 期	行書体の学習	同上		○		○	古典名や作者・時代を覚ええたか。柔らかい流れのある運筆ができたか。毛筆表現にどんな工夫をしたか。	○	○	○	10
	楷書体の創作	同上		○		○	毛筆の扱いを工夫したか。楷書体特有の正確な字形と運筆表現ができたか。	○	○	○	6
	写経	同上		○		○	少筆の扱いを工夫したか。楷書体の正確な表現や全体感の観察ができたか。あきらめずに最後まで集中したか。	○	○	○	8
	ペン字	同上	○			○	毛筆的な書き方を応用できたか。楷書体の正確な表現ができたか。	○	○	○	6

書道I

3 学 期	仮名の学習	同上			○	○	連続と散らし書きにチャレンジできたか。細線の魅力、かなの歴史、日本文化上の意義が理解できたか。	○	○	○	12
	隸書体の学習	同上			○	○	独特な用筆法と字形結構を理解できたか。	○	○	○	6
					○	○					合計 78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 家庭

科目 家庭総合

教科：家庭

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1組：佐々木）（2組：神田）（3組：神田）（4組：岡田）（5組：神田）（6組：神田）（7組：岡田）（8組：岡田）

使用教科書：（未来へつなぐ家庭総合365（教育図書））

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な知識について理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を設定して解決策を実践し論理的に表現するなど課題を解決する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】課題の解決に主体的に取り組み地域社会に参画しようとするとともに自分や地域の生活を創造し実践しようとしている。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け課題の解決に主体的に取り組み地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 生涯の生活設計 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭とは何かを様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる	・ライフステージの特徴と課題 ・青年期の自立 ・有償労働無償労働 ・性の多様性 ・家庭生活を支える法律 ・男女参画社会 ・18歳成人 ・教科書・プリント・視聴覚教材	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	14
	B 単元 高齢者の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い疾病について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の生活や、社会的な支援のあり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる	・高齢期の心身の変化 ・介助実習 ・高齢期の健康 ・高齢期の生活 ・高齢者との交流 ・高齢化の現状と超高齢社会の課題 ・社会保障制度 ・教科書・プリント・視聴覚教材・疑似高齢者体験教材	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	8
	C 単元 共生社会と福祉 【知識及び技能】 社会保障制度や公的年金制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考え、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる	・自助・共助・公助 ・社会保障制度や公的年金制度 ・ノーマライゼーション ・教科書・プリント・視聴覚教材	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	8
	定期考査			○	○		0
2 学 期	D 単元 衣生活と健康 【知識及び技能】 衣服のおもな機能について理解し、生活に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 購入、活用、手入れ、再利用や廃棄まで考えて、衣服計画をたてることのできる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる	・衣服の機能 ・衣服の安全上の問題 ・衣服素材（繊維・糸・布）の種類と特徴 ・衣服の表示 ・衣服管理 ・教科書・プリント・視聴覚教材・繊維見本・生地見本	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	16
	E 単元 衣服制作 【知識及び技能】 基本的な衣服制作の技術を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 実習態度や作品の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に実習に取り組んでいる	・エプロンの縫製 ・ミシンの扱い方 ・布・ミシン・裁縫用具	【知識・技能】 作品の提出 【主体的に学習に取り組む態度】 実習態度 作品の提出	○	○	○	16
3 学 期	F 単元 生活における経済の計画 【知識及び技能】 生涯を見通した経済計画や消費生活・契約について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の消費行動について客観的に考えることのできる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる	・家計と経済 ・収入と支出 ・金融商品の特徴 ・消費行動と意思決定 ・契約 ・消費者信用 ・消費者問題の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・教科書・プリント・視聴覚教材	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	16
							合計
							78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

家庭

科目

家庭総合

教科：家庭

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：神田）（2組：神田）（3組：佐々木）（4組：神田）（5組：神田）（6組：神田）（7組：岡田）（8組：岡田）

使用教科書：（ 未来へつなぐ家庭総合365（教育図書） ）

教科

家庭

の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な知識について理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を設定して解決策を実践し論理的に表現するなど課題を解決する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】課題の解決に主体的に取り組み地域社会に参画しようとするとともに自分や地域の生活を創造し実践しようとしている。

科目	家庭総合	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
子どもの発達と保育や、健康的な食生活、快適な住生活などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け課題の解決に主体的に取り組み地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 子どもの発達と保育 【知識及び技能】 子どもの特徴や適切な関わりについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 親や社会との子どもの関わりとは何かを様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる 定期考査	・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見をもつ ・乳幼児期が人の一生において重要な時期であることを理解する ・親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義を学ぶ ・子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する ・子どもとの適切なかかわり方について工夫する	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	20
	定期考査			○	○		0
2 学 期	B 単元 食生活と健康 【知識及び技能】 食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在・将来の自分自身や、家族にとっての食生活の課題を自分ごととして捉え、食生活の充実向上を図るために実践しようとしている	・食事で健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する ・日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴について理解する ・安全や健康の観点から、食品を適切に選択したり保存したりする方法について理解する ・食事摂取基準について理解し、各栄養素の必要量についてのイメージを身に付ける ・年齢、性別、宗教など様々な背景や考え、相手に配慮した献立について考えることができる。 ・食品ロスなど具体的な問題点から現代の食生活の問題や課題について考える	【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	24
	B 単元 食生活と健康 【知識及び技能】 日常食の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる 【思考力、判断力、表現力等】 調理実習を通し料理の味や食感などに関する自分の考えなどを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 配膳や食事マナーを考えて、食事を整え、楽しく食事をしようとしている	・調理の基本的な技術を身につけ、安全や衛生面に配慮した調理ができるようになる ・料理の盛り付けや配膳、食事のマナーの基本を理解する	【知識・技能】 実習における提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 レポート課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物 実習態度	○	○	○	14
3 学 期	B 単元 住生活と住環境 【知識及び技能】 住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解している 【思考力、判断力、表現力等】 各ライフステージに応じた住居について考え、まとめたり発表したりできる 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴や課題、地域の災害リスクなどに合わせて、住生活の計画を立てようとしている	・人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する ・地震などの災害に備えたり、家庭内事故の要因を理解したりするなど、安全な住居についての基礎知識を身につける ・安全で快適な住生活のための対策を具体的に考え工夫する ・家族のライフステージや状況に合わせた、適切な住まいについて理解する ・住居の平面図を読み取るができるようになる ・私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り、まちづくりに参加する重要性を理解する	【知識・技能】 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度	○	○	○	20
							合計
							78

年間授業計画				荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用		教科 家庭		科目 家庭基礎		
教科：家庭		科目：家庭基礎		単位数：2 単位						
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組										
教科担当者：（Ⅰ部：佐々木）（Ⅱ部：佐々木）（Ⅲ部：岡田）										
使用教科書：（ 気づく力 築く未来（実教出版） ）										
教科 家庭		の目標：								
【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な知識について理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けさせる。										
【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を設定して解決策を実践し論理的に表現するなど課題を解決する力を身に付けさせる。										
【学びに向かう力、人間性等】課題の解決に主体的に取り組み地域社会に参画しようとするとともに自分や地域の生活を創造し実践しようとしている。										
科目 家庭基礎		の目標：								
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】					
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。			様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け課題の解決に主体的に取り組み地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。					
1 学期	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知	思	態	配当 時数
	A 単元 生涯の生活設計 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭とは何かを様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる		・ライフステージの特徴と課題 ・青年期の自立 ・有償労働無償労働 ・性の多様性 ・家庭生活を支える法律 ・男女参画社会 ・18歳成人 ・教科書・プリント・視聴覚教材		【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度		○	○	○	14
	B 単元 高齢者の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い疾病について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の生活や、社会的な支援のあり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる		・高齢期の心身の変化 ・介助実習 ・高齢期の健康 ・高齢期の生活 ・高齢者との交流 ・高齢化の現状と超高齢社会の課題 ・社会保障制度 ・教科書・プリント・視聴覚教材・疑似高齢者体験教材		【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度		○	○	○	8
	C 単元 共生社会と福祉 【知識及び技能】 社会保障制度や公的年金制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 共生社会の実現のために、社会の一員として何が出来るかを考え、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる		・自助・共助・公助 ・社会福祉制度や公的年金制度 ・ノーマライゼーション ・教科書・プリント・視聴覚教材		【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度		○	○	○	8
	定期考査						○	○		0
2 学期	D 単元 衣生活と健康 【知識及び技能】 衣服のおもな機能について理解し、生活に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 購入、活用、手入れ、再利用や廃棄まで考えて、衣服計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる		・衣服の機能 ・衣服の安全上の問題 ・衣服素材（繊維・糸・布）の種類と特徴 ・衣服の表示 ・衣服管理 ・教科書・プリント・視聴覚教材・繊維見本・生地見本		【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度		○	○	○	16
	E 単元 衣服制作 【知識及び技能】 基本的な衣服制作の技術を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 実習態度や作品の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に実習に取り組んでいる		・ハーフパンツの縫製 ・ミシンの扱い方 ・布・ミシン・裁縫用具		【知識・技能】 作品の提出 【主体的に学習に取り組む態度】 実習態度 作品の提出		○	○	○	16
3 学期	F 単元 生活における経済の計画 【知識及び技能】 生涯を見通した経済計画や消費生活・契約について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の消費行動について客観的に考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度や課題の提出、自身の生活と内容を結び付け積極的に学習に取り組んでいる		・家計と経済 ・収入と支出 ・金融商品の特徴 ・消費行動と意思決定 ・契約 ・消費者信用 ・消費者問題の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・教科書・プリント・視聴覚教材		【知識・技能】 定期考査 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の発言 定期考査 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の発言 提出物 授業態度		○	○	○	16
										合計 78

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

	指導内容	科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	自分を見つめる	オリエンテーション 一年間の授業について見通しをもつ。 人の生涯とライフステージについて学習する。	プリント記入によって評価	2
		青年期の過ごし方と自立について理解し、実践的な力を養う。	プリント記入によって評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

	指導内容	科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	食生活の自立	食事の役割と食品について学習する。 現代の食生活の課題と変化(肥満と痩せ・食料自給率・食の外部化)について理解する。	プリント記入と定期考査によって評価	2
	食品と栄養	栄養素の種類と働き(炭水化物・脂質)について理解する。 糖度実験から糖の過剰摂取による危険性を理解する。	プリント記入と定期考査によって評価	2
	衛生的な調理	調理器具の取り扱い・食中毒予防について学習する。 調理実習①の説明	プリント記入と定期考査によって評価	2
	調理実習①	実習①三色丼・すまし汁・茶の調理方法や調理特性を理解する。	実習参加とレポート提出により評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	調理実習②	調理実習①の振り返り (レポート作成) 調理実習②の説明	プリント記入によって評価	2
		栄養バランスのよい食事について理解する。 実習②回鍋肉・白米・中華コーンスープの調理方法や調理特性を理解する。	実習参加とレポート提出により評価	2
		調理実習②の振り返り 栄養素の種類と働き(たんぱく質・炭水化物・脂質)について理解する。	プリント記入によって評価	2
		栄養バランスのよい食事について理解する。 持続可能な食生活(食品ロス・地産地消)について理解する。	プリント記入と定期考査によって評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部

教科担当者：（Ⅰ部：佐々木）（Ⅱ部1：佐々木）（Ⅱ部2：佐々木）（Ⅲ部：岡田）

使用教科書：（家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書 ）

使用教材：（教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD ）

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	2年生の「青年期と自立」「食生活」分野の まとめ	ライフステージと人生設計、五大栄養素・食品の衛生（食中毒予防）について 復習し、理解を深める。	プリント記入によって評価	2
		1学期のまとめ	プリント記入によって評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部

教科担当者：（Ⅰ部：佐々木）（Ⅱ部1：佐々木）（Ⅱ部2：佐々木）（Ⅲ部：岡田）

使用教科書：（家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書 ）

使用教材：（教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD ）

	指導内容	科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

	指導内容	科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	生活資源を活用した生活設計	生活資源の詳細について学習する	プリント記入と定期考査によって評価	2
	時間の使い方	生活時間を見直し、有効な時間活用が出来る力を身につける。	プリント記入と定期考査によって評価	2
	人とのつながり	自助・共助・公助について考える。 家族の助け合い・社会との関わり	プリント記入と定期考査によって評価	2
	リスクマネジメント	リスクへの対応と生活の中のリスクマネジメントについて学習する。	プリント記入と定期考査によって評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者：(Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書：(家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材：(教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	キャリアを見直す	どのような仕事があるか。働き方の種類と生涯賃金などについて学習する。	プリント記入と定期考査によって評価	2
	持続可能な社会に向けて	伝統文化・気候変動など、様々な要因から将来の生活を考える。	プリント記入と定期考査によって評価	2
	衣生活の自立	衣服のはたらきについて学習する。 ライフステージと衣服の変化について学習する(TPOに合わせた衣服の選択など)	プリント記入と定期考査によって評価	4
		衣服の選択と被服生活について学習する。 採寸について理解する。(採寸実習)	実習の参加状況とプリント記入、定期考査により評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	被服の素材	天然繊維・化学繊維について理解する。 (繊維の燃焼実験) 表示の読み取り方を学ぶ。	実習の参加状況とプリント記入、定期考査により評価	4
	被服の着用	三原組織について理解する。 表示の読み取り方を学ぶ。	プリント記入と定期考査によって評価	2
	被服の管理	手入れの方法や洗濯の仕組みについて理解し、実践できる力を身につける。	プリント記入と定期考査によって評価	2
		布地の特性・型紙など製作について学習する。 被服実習の説明。	プリント記入と定期考査によって評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	被服実習	ミシンの使い方(練習)…被服室使用 上糸のかけ方と下糸の巻き方 直線縫い・様々な縫い方	実習参加と作品提出により評価	2
	作製①	Tシャツ①	実習参加と作品提出により評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	作製②	Tシャツ②	実習参加と作品提出により評価	2
	作製③	Tシャツ③	実習参加と作品提出により評価	2
	作製④	Tシャツ④	実習参加と作品提出により評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者：(Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書：(家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材：(教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

	指導内容	科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	子どもの発達と保育	子どもの誕生(生命の創造・母体の健康管理・新生児の特徴)について理解する。	プリント記入と定期考査によって評価	4
		子どもの発達について学習する。	プリント記入と定期考査によって評価	2
		親の役割と地域の関係について学習する。 地域ぐるみで子育てを行う必要性を理解する。	プリント記入と定期考査によって評価	2
		子どもの役割と福祉・法律について学習する。	プリント記入と定期考査によって評価	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 家庭科「家庭基礎」 年間授業計画

教科： 家庭科 科目名：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年Ⅰ部～Ⅲ部)

教科担当者： (Ⅰ部：佐々木) (Ⅱ部1：佐々木) (Ⅱ部2：佐々木) (Ⅲ部：岡田)

使用教科書： (家庭基礎 とともに生きる 明日をつくる 教育図書)

使用教材： (教科書、資料集、プリント、パワーポイント、DVD)

指導内容		科目「家庭基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	人形を使った実習	抱き方・沐浴・ミルクの飲ませ方・おむつの交換・着替えなどについて実践的に学ぶ。	実習参加とプリント記入によって評価	4
		1年間のまとめ	プリント記入によって評価	2

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅠ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1組：護得久・寛) (2組：高橋・寛) (3組：寺谷・寛) (4組：高橋・寛) (5組：八重樫・高橋) (6組：寺谷・橋田)
(7・8組：矢吹・橋田)

使用教科書： (Amity English CommunicationⅠ)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】不定詞・関係詞・接続詞・助動詞・前置詞・時制・仮定法の文法項目を学び、使用することができる。

【思考力、判断力、表現力等】学んだ文法や表現を使って表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

教科 外国語

の目標： 聞いたり読んだりしたことを活用して、話したり書いたりするなどの総合的な言語活動を通して、英語の基礎・基本を学ぶ。

【知識及び技能】 不定詞・関係詞・接続詞・助動詞・前置詞・時制・仮定法の文法項目を学び、使用することができる。

【思考力、判断力、表現力等】 学んだ文法や表現を使って表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 英語でコミュニケーションを取ろうとする態度を養い、適切な表現を使うことができる。

科目 外国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞いたり読んだりしたことを活用して、話したり書いたりするなどの総合的な言語活動を通して4技能を育成する。	様々な言語使用の場面を取り上げ、有機的に組み合わせる活用することができる。	ネイティブスピーカーとコミュニケーションを取るなど、積極的に言語活動に取り組もうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	a. 本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。 b. 本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけることができる。	Lesson1 The Beautiful Scenery	取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	7
	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（お気に入りの場所）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	Lesson1 The Beautiful Scenery	be動詞・一般動詞の現在形について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えている。be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	a. 本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。 b. 本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけることができる。	Lesson2 My Best Friend	取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	14
	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（日常生活）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	Lesson2 My Best Friend	be動詞・一般動詞の過去形について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。be動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えている。be動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	a. 本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。 b. 本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけることができる。	Lesson3 Love for Dance	取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	14
	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（提示された写真）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	Lesson3 Love for Dance	進行形や助動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	a. 本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。 b. 本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけることができる。	Lesson4 Endangered Species	取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	14
	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（好きな動物）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	Lesson4 Endangered Species	不定詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3 学 期	a. 本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。 b. 本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけることができる。	Lesson5 The History of Chocolate	取り上げられた語句の意味を理解したうえで、正しく発音する技能を身につけている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。扉の写真を見て、内容や状況を推測し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	9
	a. 本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 b. 本文の内容（健康に関することや空いた時間）について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	Lesson5 The History of Chocolate	動名詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身につけている。動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							117

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

外国語科

科目

総合英語 I

教科：外国語科

科 目： 総合英語Ⅰ

单位数： 3 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

0

教科担当者：（１～３組：柴田）（４、６組：秋山）（５組：秋山）

(7. 8組：秋山)

使用教科書：(Amity English Communication II

教科 **外国語科** の目標：

【知識及び技能】英語の基礎的な知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】英語の自然な表現を使って自らの考えを示す。

【学びに向かう力、人間性等】英語を学ぶことによって多様性を身につける。

科目 **総合英語 I** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校英語の基礎的な知識・技能を身につけ、身の回りにある英語を理解する。	英語を使って自らの考えや意見を表現する力を身につける。	英語という言葉の多様性を理解し、積極的に興味・関心を持って学習に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話〔 や〕	話〔 発〕	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 現在のことを表現する言い方を理解し、活用する 【思考力、判断力、表現力等】 旅行で行ってみたい場所について紹介する 【学びに向かう力、人間性等】 沖縄でやってみたいことについて進んで話し合おうとする	・指導事項 be動詞やcanなど現在のことを表す言い方を学ぶ。 ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	16
	定期考査								○	○		1
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 過去のことを表現する言い方を活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな食べ物について紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代から現代への日本食の発展について進んで話し合おうとする。	・指導事項 過去を表す表現をアクティビティ等を通じて学ぶ。 ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	26
	定期考査								○	○		1
2 学 期	C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 不定詞と受動態を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 参加してみたいボランティアについて紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ボランティア活動について、進んで話し合おうとする。	・指導事項 不定詞と受動態 ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	21
	定期考査								○	○		1
	D 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 第4文型、第5文型を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ガチャガチャの中にあったら嬉しいと思うものについて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 外国人に人気の日本文化について、進んで話し合おうとする。	・指導事項 第4文型、第5文型 ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
3 学 期	E 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 形式主語や形式目的語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 水族館と動物園とは、どちらが好きか説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が考えるユニークな水族館について、進んで話し合いをする。	・指導事項 形式主語、形式目的語 ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	29
	定期考査											1 合 計 117

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科

英語

科目

総合英語 I

教科：英語

科 目： 総合英語Ⅰ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組 0

教科担当者：（Ⅰ部：護得久）（Ⅱ部：寺谷）（Ⅲ部：矢吹）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（ Amity English Communication II ）

教科	英語	の目標:
----	----	------

【知識及び技能】英語の基礎的な知識を身につける

【思考力、判断力、表現力等】自然な英語を使って自分のことなどを表現できる

【学びに向かう力、人間性等】英語を学ぶことによって多様性を身につける

科目	総合英語 I	の目標：
----	--------	------

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校英語の基礎的な知識・技能を身に付け、身の回りにある英語を理解する。	英語を使って自らの考えや意見を表現する力を身につける。	英語という言語の多様性を理解し、積極的に興味・関心を持って学習に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話〔 や〕	話〔 発〕	書					
1 学 期	A 単元Lesson 7 【知識及び技能】 接続詞を理解し、活用する 【思考力、判断力、表現力等】 欲しいと思うAIロボットについて紹介する 【学びに向かう力、人間性等】 自らすすんでAIのことについて調べ、グループで発表する	・指導事項 接続詞の使い方を学ぶ ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	B 単元 Lesson 8 【知識及び技能】 現在完了を理解し、活用する 【思考力、判断力、表現力等】 写真に写っている果物を見て、色について、名詞の形を意識しながら説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで現在完了を使用して、やったことのあることを説明できる	・指導事項 現在完了の使い方を学ぶ ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	13
2 学 期	C 単元 Lesson 9 【知識及び技能】 分詞構文、分詞の形容詞的用法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きなミュージシャンについて発表する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで、自分な好きな音楽などについて話し合いをする	・指導事項 分詞構文、分詞の形容詞的用法を学ぶ ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	C 単元 Lesson 10 【知識及び技能】 関係代名詞の制限用法と非制限用法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 身近な人について発表する 【学びに向かう力、人間性等】 身近な人などについて積極的な話し合いをする	・指導事項 関係代名詞の使い方を学ぶ ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
3 学 期	C 単元 Lesson 11 【知識及び技能】 関係副詞について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きな商品について発表する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで、自分な好きな商品の魅力などについて話し合いをする	・指導事項 関係副詞の使い方を学ぶ ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	9
	C 単元 Lesson 12 【知識及び技能】 仮定法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きな後悔したことについて発表する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで、後悔したことから、自分の願望などについて話し合いをする	・指導事項 仮定法の使い方を学ぶ ・教材 教科書、プリント等 ・1人1台端末を活用して提出物などを管理する	○	○	○	○	○	・知識・技能 定期考査 ・思考・判断・表現 プレゼンテーション、定期考査 ・主体的に学習に取り組む態度 提出物、授業態度、出席状況	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	<題材内容とねらい> ・世界自然遺産の一例の状況とその環境問題に関する内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・環境問題に関連して、日常生活で配慮できることについて述べることができる。 <文型・文法事項> 動詞の目的語になる if 節 を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	6

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡWORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	<題材内容とねらい> ・世界自然遺産の一例の状況とその環境問題に関する内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・環境問題に関連して、日常生活で配慮できることについて述べるができる。 <文型・文法事項> 動詞の目的語になる if 節 を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	12

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	Lesson 7 Happiness through Hula	＜題材内容とねらい＞ ・いわき市の歴史とフラダンスとに関する内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・人を励ますためにできることについて、間違えることを恐れずに書いたり話したりする。 ＜文型・文法事項＞ ・知覚動詞についての基本的な知識を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡWORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	Lesson 7 Happiness through Hula	＜題材内容とねらい＞ ・いわき市の歴史とフラダンスとに関する内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・人を励ますためにできることについて、間違えることを恐れずに書いたり話したりする。 ＜文型・文法事項＞ ・知覚動詞についての基本的な知識を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	7

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科：英語科：コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数：3単位

対象学年組：第4学年1組～8組

教科担当者：（1組：八重樫）（2・3組：八重樫）（4組：八重樫）（5・6組：八重樫）（7・8組：橋田）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	Lesson 8 The Magic of the Cotsworlds	＜題材内容とねらい＞ ・ 旅の報告に関するメールを正確に読み取ることができる。 ・ 場所や時に関する内容について、情報を追加して説明できる。 ・ 自分が体験した旅の思い出について述べることができる。 ・ 相手が体験した旅の思い出について聞き取ることができる。 ＜文型・文法事項＞ 関係副詞：＜where, when＞を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡWORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	Lesson 8 The Magic of the Cotswolds	＜題材内容とねらい＞ ・旅の報告に関するメールを正確に読み取ることができる。 ・場所や時に関する内容について、情報を追加して説明できる。 ・自分が体験した旅の思い出について述べることができる。 ・相手が体験した旅の思い出について聞き取ることができる。 ＜文型・文法事項＞ 関係副詞：＜where, when＞を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 : コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate	＜題材内容とねらい＞ ・カカオの生産に関する厳しい現状について正確に読み取り，その格差の問題について考えることができる。 ・図表を使った内容について，正確に読んだり，聞き取ったりすることができる。 ・数字データを使ったテーマについて調べて，発表することができる。 ・数字データを使ったテーマについての発表を聞き取ることができる。 ＜文型・文法事項＞ 使役動詞を理解し，文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 : コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate	＜題材内容とねらい＞ ・カカオの生産に関する厳しい現状について正確に読み取り，その格差の問題について考えることができる。 ・図表を使った内容について，正確に読んだり，聞き取ったりすることができる。 ・数字データを使ったテーマについて調べて，発表することができる。 ・数字データを使ったテーマについての発表を聞き取ることができる。 ＜文型・文法事項＞ 使役動詞を理解し，文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡWORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	Lesson 10 Designing for Peace	＜題材内容とねらい＞ ・マスード・ハッサーニさんとマイン・カフオンについて関心をもち、内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・人の意見に対して賛成か反対かを示して、その理由を述べる。 ・同時にしてはいけないことを、相手に指示する。 ＜文型・文法事項＞ ・分詞構文についての基本的な知識を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組：八重樫）（2・3組：八重樫）（4組：八重樫）（5・6組：八重樫）（7・8組：橋田）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	Lesson 10 Designing for Peace	＜題材内容とねらい＞ ・マスード・ハッサーニさんとマイン・カフオンについて関心をもち、内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・人の意見に対して賛成か反対かを示して、その理由を述べる。 ・同時にしてはいけないことを、相手に指示する。 ＜文型・文法事項＞ ・分詞構文についての基本的な知識を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	14

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 教科：英語科目 コミュニケーション英語Ⅱ（4年） 年間授業計画

教科 科： 英語科 ： コミュニケーション英Ⅱ（4年） 単位数： 3単位

対象学年組： 第4学年1組～8組

教科担当者：（1組： 八重樫 ）（2・3組：八重樫 ）（4組：八重樫 ）（5・6組：八重樫 ）（7・8組：橋田 ）

使用教科書：（東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」）

使用教材：（桐原書店「Data Base 3000 英単語・熟語」・東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡWORKBOOK」）

	指導内容	科目「××」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	Lesson 10 Designing for Peace	＜題材内容とねらい＞ ・マスード・ハッサーニさんとマイン・カフオンについて関心をもち、内容を正確に読み取ることができる。 ・自分が疑問に思っていることを述べることができる。 ・相手が疑問に思っていることを聞き取ることができる。 ・人の意見に対して賛成か反対かを示して、その理由を述べる。 ・同時にしてはいけないことを、相手に指示する。 ＜文型・文法事項＞ ・分詞構文についての基本的な知識を理解し、文を作ることができる。	語彙力・小テスト 授業への取り組み プリントチェック	6

年間授業計画

荻窪高等学校 令和4～6年度入学生用

教科 情報

科目 情報Ⅰ

教科：情報

科目：情報Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当：(1～4・6組：板垣) (5組：菊池) (7～8組：鈴木規)

使用教科書：(東京書籍 新編 情報Ⅰ (情701))

教科 情報の目標：

【知識及び技能】 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用できる知識および技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

科目 情報Ⅰの目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元：情報社会を見渡してみよう。 【知識及び技能】 情報社会の利便性についての知識・技能を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の長所・短所について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報機器や効果的なコミュニケーション手段等の利用における注意点について考えを深めさせる。	・指導事項 SNSの普及と情報モラル 情報社会とは 大切な情報を守るために 情報社会を支える法律 著作権等に関する法律 情報通信技術で変わる社会 ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 SNSの利便性や注意点について具体的に理解している。 【思考・判断・表現】 SNSおよびインターネットの利用における長所・短所について事例を挙げて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 SNSおよびインターネットの利用について、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	14
	B単元：コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの考え方と目的を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近にある情報デザインの事例から適切に分類させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある情報デザインの事例から主体的かつ横つに分類させ、考察させる。	・指導事項 デザインの基本を見てみよう 情報デザイン 情報を伝える様々な手段 誰にとっても分かりやすい情報デザインの工夫 情報デザインの流れ ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 情報デザインの考え方と目的を理解している。 【思考・判断・表現】 身近にある情報デザインの事例を抽象化、可視化、構造化に分類することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近にある情報デザインの事例や活用法を主体的に考察しようとしている。	○	○	○	18
2 学 期	C単元：情報のデジタル化・コンピュータの仕組み 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 基教変換が表現でき、作業効率がある方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル化について関心を持たせ、プログラム処理を表現させる。	・指導事項 デジタルデータと2進法 コンピュータの基本的な構成 CPUとメインメモリ ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 アナログとデジタルの特徴を理解している。2進法による表現と情報量の単位について理解している。 【思考・判断・表現】 数を2進法・10進法・16進法で表現することができる。 作業効率が高くなる方法について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル化や2進法に関心を持とうとしている。 プログラム処理を自分の言葉で説明しようとしている。	○	○	○	16
	D単元：データの活用 【知識及び技能】 データの性質とその特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの性質を正しく理解させ、分析・考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 データの加工の必要性を理解し、分析・考察させる。	・指導事項 デザインの基本を見てみよう 情報デザイン 情報を伝える様々な手段 誰にとっても分かりやすい情報デザインの工夫 情報デザインの流れ ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 データの性質とその特徴について理解している。 数値データの集計やテキストデータマイニングについて理解している。 【思考・判断・表現】 データの性質の違いを把握し、データの分析を行うことができるデータになっているかを考察している。 集計した数値データやテキストデータを分析・考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集後に加工をしないなどのような問題が推察しようとしている。 データの分析を通して自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	18
3 学 期	E単元：情報通信ネットワークの仕組み 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報通信ネットワークの基本的な構成を説明させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で身の回りにあるネットワーク用の機器について関心をもち、適切に活用できるようにさせる。	・指導事項 情報通信ネットワーク データ伝送の仕組み (IPアドレスとプロトコル、WWW・電子メール) 情報セキュリティの重要性 (個人認証、暗号化) ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解している。 【思考・判断・表現】 情報通信ネットワークの基本的な構成を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で身の回りにあるネットワーク用の機器について関心をもとうとしている。	○	○	○	6
	F単元：アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 コンピュータは決められたアルゴリズム通りの命令を実行していることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率よく結果を出すための条件や目的に合った簡潔で分かりやすいアルゴリズムを考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の身近な事象について、作業の手順を簡潔書きに表し、プログラムを作成させる。	・指導事項 物事の手順とアルゴリズム アルゴリズムの図式化 プログラムとプログラミング言語 プログラムの構造 プログラムを改善するときの考え方 プログラミングスタイルの変化 ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 コンピュータは決められたアルゴリズム通りの命令を実行していることを理解している。 【思考・判断・表現】 効率よく結果を出すための条件や目的に合った簡潔で分かりやすいアルゴリズムを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の身近な事象について、作業の手順を簡潔書きに表し、プログラムを作成しようとしている。	○	○	○	6
							合計 78

荻窪高等学校 令和6年度 教科 情報科 科目 情報の科学 年間授業計画

教科 科 情報 科 目 情報と科学 単位数 2 単位

対象学年組 第4学年1組～8組

使用教科書 (日本文教出版「新・情報の科学」)

使用教材 (情報の科学準拠 情報のノート)

	指導内容	情報と科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	情報の伝達、プレゼンの練習もかねて、自己紹介を全体に向けて各自行わせる。 今年度の授業のガイダンスを通して何を学ぶかを理解させる。	授業態度	4
5月	問題解決とコンピュータの活用 タイピングの習得とコンピュータの仕組み コンピュータの仕組みと働き 情報通信ネットワーク	問題解決のステップを理解させる。 マインドマップの手法を学ぶ タイピング、タッチメソッドの習得させる。 コンピュータの進化と普及について理解させる。 情報通信ネットワークにおける約束事の内容を理解させる。 我々の生活と情報通信ネットワークが密接な関係にあることを理解させる。	課題提出等 タイピングソフトによるテスト 学習ノート等	8
6月	コンピュータの仕組みと働き コンピュータの構成 処理の仕組み 情報リテラシー 情報リテラシー	ハードウェアとソフトウェアを理解させる。 コンピュータの五大要素について理解させる。 検定の練習問題を通して情報活用能力を身につけさせる。 毎日パソコン入力コンクールでタイピングを測定させ、これまでの学習の定着を図る。	学習ノート等 学習ノート 文書デザイン検定問題演習等 実技テスト等	10
7月	情報リテラシー	日本語ワープロ検定や文書デザイン検定等の問題を参考にこれまでの知識・技能をさらに深めさせる。	知識問題のテスト等	6
8月				
9月	問題解決とシミュレーション モデル化とシミュレーション データベースで情報の管理と蓄積 情報システム	表計算ソフトウェアの活用能力を定着させる。 具体的な事例を示し、様々なシミュレーションを理解させる。 データベースの基本的事項について理解させる。 POSシステム、バーコードについて学ぶ	練習問題・学習ノート等 授業態度・課題提出等 授業態度 課題提出等	8
10月	情報技術と社会	ユニバーサルデザインや情報バリアフリーについて理解させ、生徒自身にそのデザインや概要について考察させる。	学習ノート・課題提出等	8
11月	アルゴリズム プログラムの構造を学ぼう	フローチャートを用いてアルゴリズムを理解させる。 繰り返しや分岐のプログラムなどを理解させる。	課題提出等 学習ノート等	8
12月	2学期のまとめ	表計算ソフトウェアを活用したシミュレーションを体験し、その理解を深めさせる。	検定問題等	6
1月	自分の好きなことについて発表しよう	プレゼンテーションソフトウェアの活用法を理解させ、視聴者を引き込み、納得させるプレゼンテーション能力の向上を図る。	授業態度	6
2月	情報社会の未来を考えよう	情報化社会の光と影を考察させ、今後どのように社会が発展していくか、オープンデータ等を活用・分析させ、効率よく物事を伝える力を向上させる。	授業態度 相互評価	8
3月	1年間のまとめ	情報化が社会にどのような変化をもたらしているかを理解させ、未来にどのように繋げていくと良いかを理解させる。	学習ノート等	6

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者： (1～8組： 高原)

使用教科書： ()

使用教材： ()

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	1. 21世紀にはばたく	・ビジネスの世界の特徴的な4つのシーンを通して、ビジネスの理解力と実践力を身につけることの必要性を理解させる。 ・のぞましい人間関係、倫理観や責任感、豊かな人間性、創造性、主体性、自己責任の意識など抽象的な概念を具体的に説明し、その重要性を認識させる。		5

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者： (1～8組： 高原)

使用教科書： ()

使用教材： ()

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	2. しっかり楽しく学んでいこう	・商業の4つの学習分野で学ぶ内容のアウトラインを第1節の4つのシーンを活用しながら紹介し、学習の動機づけを行う。 ・自ら考え、自ら学ぶ、基礎基本の大切さ、進路、生涯学習の観点から商業の学び方を理解させるとともに、自己の進路について考えさせるとともに、生涯学習の重要性を認識させる。	出席点 提出物 定期考査①	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（1～8組： 高原 ）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	第2章 経済と流通の基礎 1. 経済のしくみとビジネス	・商品（もの・サービス）の定義を紹介し、経済の仕組み（生産・流通・消費）や経済主体と経済循環などについて理解させ、企業活動が経済の発展に対して重要な役割を担っていることを理解させる。 ・ものやサービスを生産するビジネス、ものを流通させるビジネス、生産・流通・消費を円滑にするビジネスなど、経済を支えるビジネスに関心を向けさせ、ビジネスの定義および役割を理解させる。 ・三大生産要素（土地・資本・労働力）の意味を確認し、これらは限りあるものであること、すなわち希少性概念について理解させる。それゆえ、ビジネスは選択の連続であり、トレードオフおよび機会費用という経済学上の概念を理解することが重要であることを認識させる。そして、需要曲線と供給曲線から均衡価格を導き出す概念を理解させる。	出席点 提出物	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：(1～8組： 高原)

使用教科書：()

使用教材：()

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	2. 社会の変化とビジネスの発展	・サービス経済化の意味と特徴を理解させる。 ・情報化の進展にともないビジネスの世界では、情報セキュリティや情報モラルなどの課題があることを理解させ、情報リテラシーの必要性を認識させる。 ・グローバル化がビジネスにどのように影響しているか、その概略を理解させ、ローカライゼーションについて理解させる。	出席点 提出物 定期考査②	8

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者： (1～8組： 高原)

使用教科書： ()

使用教材： ()

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（1～8組： 高原 ）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	3. 経済活動と流通	・生産と消費の隔たりを橋渡しすることが流通の役割であることを理解させる。 ・生産と消費の間には、人的・場所的・時間的隔たりがあることを理解させ、その隔たりを解消する商的流通と物的流通を説明する。さらに、流通の担い手の概略を整理する。 ・流通機構や流通経路など流通の仕組みについて理解させる。特に後者については、生活用品と産業用品に分けて整理する。 ・消費者ニーズが多様化（高級化・個性化など）していること、小売業が業種から業態に重点を置くようになったこと、電子商取引が活発になっていること、小売業におけるインターネットと実店舗の連携が進展していること、顧客満足の実現をめざすマーケティングが求められていることなど、流通をとりまく環境の変化について具体的に解説する。	出席点 提出物	9
	第3章 ビジネスの担い手 1. ものの生産者	・消費者ニーズを満たす製品を製造して市場に提供することが、ものの生産者の基本的な役割であることを理解させる。 ・ものの生産者には、農業・林業・漁業などや原材料を加工して製品を作る製造業などがあるが、ここでは製造業について学ばせる。	出席点 提出物	

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者： (1～8組： 高原)

使用教科書： ()

使用教材： ()

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	第3章 ビジネスの担い手 1. ものの生産者	・消費者ニーズを満たす製品を製造して市場に提供することが、ものの生産者の基本的な役割であることを理解させる。 ・ものの生産者には、農業・林業・漁業などや原材料を加工して製品を作る製造業などがあるが、ここでは製造業について学ばせる。	出席点 提出物 定期考査③	10
	2. サービスの生産者	・サービスの生産者を具体例を挙げて説明し、サービスの生産とはサービスの提供を意味していることを理解させる。 ・サービスの生産者の種類を「日本標準産業分類」などを活用して紹介し、形のない商品(サービス)について広く理解させる。	出席点 提出物	

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：(1～8組： 高原)

使用教科書：()

使用教材：()

指導内容		科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	3. 小売業	・小売業者には、商品の販売のほか、情報提供や地域コミュニティの形成・地域文化の形成など広い役割があることを理解させる。 ・業態別の分類の観点から、小売業者は店舗販売と無店舗販売に大別できることを説明したうえで、それぞれの種類を理解させる。 ・商店街やショッピングセンターなど小売業者の集まり、小売業者のチェーン化などの現状を紹介する。 ・通信販売の進展や新業態の開発など、今日の小売業者の動向を理解させ、国による街づくりのしくみを紹介する。	出席点 提出物	10

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（1～8組： 高原 ）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	2. 資金調達	・ビジネスに必要な資金には、運転資金と設備資金があることを説明し、それぞれの資金の意味を理解させる。 ・各種の資金調達の方法があることを説明し、とくに社債の発行と株式の発行による資金調達を理解させる。また、クラウドファンディングなど新しい資金調達の方法を紹介する。	出席点 提出物 定期考査④	6
	2. 資金調達	・ビジネスに必要な資金には、運転資金と設備資金があることを説明し、それぞれの資金の意味を理解させる。 ・各種の資金調達の方法があることを説明し、とくに社債の発行と株式の発行による資金調達を理解させる。また、クラウドファンディングなど新しい資金調達の方法を紹介する。	出席点 提出物	

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：(1～8組： 高原)

使用教科書：()

使用教材：()

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	4. 雇用 1	雇用の意義について、賃金・雇用契約・失業率などのキーワードを用いて説明する。 ・わが国における雇用の特徴について、終身雇用・年功序列・成果主義賃金制度・労働組合などのキーワードを用いて説明する。 ・正規雇用と非正規雇用について説明し、とくに後者の雇用の現状を紹介し、その問題点を考えさせる。 ・福利厚生制度を説明し、雇用に関する法律を認識させる。 ・今日の雇用には、さまざまな課題があるなか、すべての人が誇りをもって働くことができる環境をつくるのが、企業に求められていることを確認する。	出席点 提出物	4
	5. 企業倫理	・企業倫理と社会的責任という抽象的な概念を、具体的に説明して理解させる。 ・近年の企業不祥事をとりあげて企業倫理の大切さを理解させる。 ・コンプライアンスやコーポレートガバナンスなど不祥事を防止するための取り組みを説明し、ビジネスにたずさわる一人ひとりの倫理観を持った行動が求められることを強く認識させる。	出席点提出物	

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（１～８組： 高原 ）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	第5章 ビジネスと売買取引			6
	1. 売買取引の手順	・売買契約の意味について説明する。 ・売買契約における品質・数量・価格の決め方や受け渡し条件・代金決済の決め方などについて理解させる。 ・見積もりと注文の方法について説明する。とくに各種書類の意味について理解させる。 ・商品の受け渡しと商品代金の受け払いの方法について説明する。とくに各種書類の意味について理解させる。	出席点提出物	
	2. 代金決済	・現金通貨の意味について説明する。 ・小切手の意味、振り出し、受け取り、不渡り、線引小切手などについて理解させる。 ・約束手形の意味、振り出し、受け取り、不渡りなどについて理解させる。 ・為替手形の意味、振り出し、引き受け、受け取り、不渡りなどについて理解させる。 ・預金の振替、クレジットカード、デビットカード、電子マネーについて紹介する。	出席点提出物	

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 商業科「ビジネス基礎」 年間授業計画

教科： 商業科 科目名：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組： 第4学年1組～8組)

教科担当者：（1～8組： 高原 ）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目「ビジネス基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	1. 売買に関する計算の基礎	・割合の表し方，基準量と比較量，割増しおよび割引の計算について理解させる。 ・取引数量と建・建値による商品の代価の計算方法を理解させる。 ・仕入原価・値入れと予定売価・値引きと実売価・損益額と損益率など，それぞれの計算について理解させる。	出席点 提出物	4
	2. 売買に関する計算の応用	・度量衡の意味を理解させ，換算に関する問題練習を行う。 ・貨幣換算の意味を理解させ，換算に関する問題演習を行う。 ・単利と複利，利息と元利合計，利息の日数計算を理解させる。	出席点提出物定期考査④	

萩窪高等学校 令和4・5年度入学生用

教科 **総合的な探究の時間**

科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間

科 目： 総合的な探究の時間

单位数： 1 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組 (7 組：清水) (8 組：大塚)

教科担当者：（1組：大橋）（2組：護得久）（3組：小須田）（4組：板垣）（5組：寺谷）（6組：武田）

使用教科書：（『探究活動の進め方』（マイナビ）、進路ファイル、他）

教科 **総合的な探究の時間** の目標： 自分を知る・他者との協働・社会と自分を考える・社会と職業を考える

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて知識及び技能を身につける。	社会的現実と照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会のかかわりから課題を捉え、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協同的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方について自ら探究し、自己の生き方を充実させようとする態度と、お互いのよきを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A オリエンテーション 【知識及び技能】進路実現に向けた知識 【思考力、判断力、表現力等】進路実現に向けた学習計画立案 【学びに向かう力、人間性等】自己理解、他者への関心	・指導事項 学力診断テスト、進路ガイダンス、クレベリン検査・教材 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用した情報収集と整理 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組みから判断する。	○	○	○	5
	B 探究活動① 【知識及び技能】資料の収集、社会課題の理解、テーマ設定 【思考力、判断力、表現力等】資料の分析と整理 【学びに向かう力、人間性等】他者との協働	・指導事項 複数の資料にあたり、収集した資料から社会課題を理解し、自身の進路や関心に沿った適切なテーマ設定を行うテーマを設定する ・教材 「探究活動のすすめ方」 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	7
	定期考査						
	C 探究活動② 【知識及び技能】情報収集・整理 【思考力、判断力、表現力等】資料の分析と整理発表準備 【学びに向かう力、人間性等】グループ活動における参加と協働	・指導事項 資料を読み解き、調査・考察し、まとめる ・教材 「探究活動のすすめ方」 進路ファイル、ワークシート 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	7
	D 探究活動③ 【知識及び技能】情報収集・整理 【思考力、判断力、表現力等】プレゼンテーション、発表の工夫 【学びに向かう力、人間性等】グループ活動における参加と協働	・指導事項 プレゼンテーション「Power Point」の使い方」、効果的な資料の活用と準備 ・教材 「探究活動のすすめ方」 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	7
定期考査							
2 学 期	E 探究活動演習① 【知識及び技能】読解・表現の技術向上 【思考力、判断力、表現力等】プレゼンテーション、発表の工夫 【学びに向かう力、人間性等】グループ活動における参加と協働	・指導事項 文化祭活動、探究成果発表により、チームでの課題解決の涵養、発表・振り返り ・教材 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	2
	D 探究活動演習② 【知識及び技能】情報収集・整理・表現技術の向上 【思考力、判断力、表現力等】プレゼンテーション、発表の工夫 【学びに向かう力、人間性等】グループ活動における参加と協働	・指導事項 文化祭活動、探究成果発表のまとめ、プレゼンテーションワーク、発表、振り返り ・教材 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	7
3 学 期	D 探究活動演習③ 【知識及び技能】情報収集・整理・表現技術の向上の確認 【思考力、判断力、表現力等】進路意識の向上と生徒同士の共有技術向上、グループ発表 【学びに向かう力、人間性等】グループ活動における参加と協働	・指導事項 社労士講演会、小論文向上プログラム ・教材 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	2
	D 1年間の振り返りと次年度準備 【知識及び技能】情報収集・整理・表現技術の向上の確認 【思考力、判断力、表現力等】プレゼンテーション、グループ発表 【学びに向かう力、人間性等】グループ活動における参加と協働	・指導事項 社会人マナー講習、選択科目について、専門学校について、働き方仮想体験ワーク、探究学習の年間まとめ ・教材 進路ファイル、ワークシート、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】授業の欠出と参加状況、進路ノートやワークシートの取り組み、およびグループワークへの協力から判断する。	○	○	○	2
							合計
							44

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	レディネステスト	・生徒自身の関心や希望進路の分析を行う	【知識・技能】 ワークシート等の提出	1
	進路面談	・進路決定について保護者との話し合い等を通して意思を固める	【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	1

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	生活指導部プログラム	火災についての防災意識を高める	【知識・技能】 ワークシート等の提出	1
	・進路総合ガイダンス	・生徒自身の関心や希望進路に即したテーマ設定をする	【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	1
	・分野別ガイダンス	・進路決定のスケジュール確認 (課題の設定) ・希望進路を絞り、情報を収集する		2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	・教務部プログラム	・面接の技法について、基本的なマナーを身につけたのち、実際に演習を行う	【知識・技能】 ワークシート等の提出	3
	面接講座	・進路に向けた面接の準備・練習を行う	【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組) (7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	面接講座	・面接の技法について、基本的なマナーを身につけたのち、実際に演習を行う	【知識・技能】 ワークシート等の提出	1
	進路フェア	自分の進路の情報収集を行う	【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	1

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	・就職管理職面接／進学志望理由書 分野別面接練習	・就職：管理職面接を行うことでこれまでの面接準備の仕上げをする ・進学：理由書作成のレクチャーの後、実際に志望理由書を書き上げる	【知識・技能】 ワークシート等の提出	2
	面接練習	面接を実際に行い、改善点を探る。	【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	1

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	・探究学習	・自分の関心を掘り下げ、テーマを設定する ・テーマに沿って複数の資料にあたる (ネット・文献資料など複数)	【知識・技能】 ワークシート等の提出	2
	自立支援プログラム	若者の就労支援について学ぶ	【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	2
	生活指導部プログラム	風水害について被害を含め予防策などを学ぶ		1

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	総合支援プログラム	消費者教育・消費者として気を付けることなどを学ぶ 感情コントロール・自身の心理と向き合い感情をコントロールする能力を身に付ける	【知識・技能】 ワークシート等の提出 【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	2
	・消費者教育	消費者として気を付けることを学ぶ・実践事例を交えて自分の生活と結び付ける		1
	自立支援プログラム	将来の自分と自分の進路に向き合う。実現のための手法を探る。		2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	年金講演会	年金についての仕組みを学ぶ・今後の支払い、将来設計を考える	【知識・技能】 ワークシート等の提出 【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	1

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者： (1組：田中) (2組：福島) (3組：福島) (4組：八重樫) (5組：佐々木) (6組：佐々木)

使用教科書： (『探究活動の進め方』 (マイナビ))

使用教材： (進路ファイル、他)

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	自立支援プログラム	将来の自分と自分の進路に向き合う。実現のための手法を探る。	【知識・技能】 ワークシート等の提出 【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	3
	生活指導部プログラム	防災・土砂災害について学ぶ		2

年間授業計画様式

荻窪高等学校 令和6年度 「総合的な探究の時間」 年間授業計画

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組） （7組：林 ）（8組：林 ）

教科担当者：（1組：田中 ）（2組：福島 ）（3組：福島 ）（4組：八重樫 ）（5組：佐々木 ）（6組：佐々木 ）

使用教科書：（『探究活動の進め方』（マイナビ））

使用教材：（ 進路ファイル、他 ）

	指導内容	科目「総合的な探究の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	・進路活動の振り返り（準備）	・この一年間の振り返り、レポートやプレゼンテーションワークなどを通して、今後の学校生活や進学先での学習について考えを深める	【知識・技能】 ワークシート等の提出 【思考・判断・表現】 発表等 【学びに向かう力・人間性】 参加・協働	4

教科： 科目名：総合的な探究の時間 単位数：1

対象学年組： 第4学年1組～8組)

(7組：林) (8組：林)

教科担当者：（１組：田中）（２組：福島）（３組：福島）（４組：八重樫）（５組：佐々木）（６組：佐々木）

使用教科書：（『探究活動の進め方』（マイナビ））

使用教材 : (進路ファイル、他

[illegible]